

令和元年度 事業報告書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)



学校法人 順天堂

順天堂大学 4キャンパス6附属病院群

練馬病院



順天堂越谷病院



さくらキャンパス
スポーツ健康科学部
(医学部1年生)
スポーツ健康科学研究科



本郷・お茶の水キャンパス
大学・大学院・法人本部
医学部(2~6年生)
国際教養学部
保健医療学部
3大学院研究科
順天堂医院(医院の名を継承しています)



浦安病院



三島キャンパス
保健看護学部
医療看護学研究科



静岡病院



順天堂東京江東
高齢者医療センター



浦安キャンパス
医療看護学部
医療看護学研究科



<https://www.juntendo.ac.jp/>



順天堂の「順天」は、中国の古典『易経』にある「順天応人」(天の意志に順い、人々の期待に応える)と、孟子の言葉の「順天者存。逆天者亡」(自然の摂理に順うものは存続して栄え、天の理法に逆らうものは亡びる)に由来します。



A 法人章 B 法人章
「意匠登録」：1996(平成8)年

A法人章：仁義礼智信…の「仁」をデザイン化したとされ、明治初期の順天堂医院診察券や薬袋、佐藤尚中の肖像や医専の校章に使用されています。

B法人章：佐藤の「サ」又はA 法人章を大学の「大」へデザイン化したとされています。<1957(昭和32)年制定>



平成21年6月に制定された「ロゴマーク」は、本学の式典旗、発行する印刷物、ホームページ、文具類等の物品、本学公認の学生サークルの団旗等に使用されます。



2020年 順天堂創立182周年

開塾：1838年（天保9年）



順天堂の沿革



順天堂は、江戸後期の天保9(1838)年、今から182年前に学祖・佐藤泰然が江戸・薬研堀に設立したオランダ医学塾・和田塾に端を発し、いまに繋がる日本最古の西洋医学塾です。

幕末、攘夷・洋学排斥の動きもあり、江戸より下総国佐倉に移った順天堂には、全国各地より百数十名を超える俊英が参集し、「日新の医学、佐倉の林中より生ず」と今に語り継がれるが如き、西洋医学研究・教育、そして臨床医学実践の場となりました。

順天堂第二代堂主・佐藤尚中は、明治2(1869)年、明治新政府の要請を受け、佐倉より多数の門下生を率いて上京し、宮内省「大典医」(明治天皇の主治医団長)・文部省「大学大博士」第一号を拝命し、大学東校(現 東京大学医学部の前身)の初代校長として近代医学教育確立に尽力し、西洋医学教育最高学府(東京帝国大学医学部)の礎を固めました。順天堂堂主に帰任した佐藤尚中は佐藤進らと順天堂醫事研究会を設立し、順天堂医院と醫事研究会を基盤に医師の育成を発展させました。順天堂に学んだ者は医師開業試験を免除されました。済生学舎、済衆舎、博愛舎を始めとする多くの医学校の設立を助け、その学生及び卒業生(野口英世ら)は順天堂で臨床教育を受けました。これら医学校を母体として、日本医科大学、東京医科大学、東京女子医科大学など多くの大学が誕生していきます。

佐藤進は、明治2(1869)年、明治新政府発行の旅券第一号をもってドイツに留学し、明治7(1874)年、アジア人として最初のベルリン大学医学部卒業生、そして医学博士となりました。ドイツより帰国した佐藤進は、佐藤尚中と共に医師育成を続け、明治8(1875)年10月に日本初の医学雑誌『順天堂醫事雑誌(現在は欧文誌、Juntendo Medical Journal:JMJとして)』を発刊し、近代医学情報を日本全国に発信しました。第三代堂主となった佐藤進は、順天堂医院長在任中に陸軍本病院長や日清・日露両戦役の陸軍軍医総監など国家枢要の職を兼任して国難に対峙しました。明治18(1885)年、順天堂医院長在任中に、東京大学医学部附属第一医院及び第二医院の院長、また大韓医院(現ソウル大学医学部)を設立し、初代院長・医学部長をも兼任するなど、日本そしてアジアにおける西洋医学教育普及のリーダーとなりました。

第四代堂主(初代理事長)・佐藤達次郎は、順天堂醫事研究会を母体に医学専門学校を開設し、順天堂医科大学へと発展させ、昭和26(1951)年、体育学部(現在のスポーツ健康科学部)を東俊郎を初代学部長として併設し順天堂大学と致しました。順天堂の院

長を続けつつ東京医科大学創立に尽力し、初代学長、次いで理事長として、その発展を支えました。

第五代堂主(理事長)・有山登は、大学・病院の施設設備を拡充・整備させ、昭和34(1959)年、大学院医学研究科・博士課程を開設し、昭和46(1971)年、大学院体育学研究科・修士課程(現在の大学院スポーツ健康科学研究科・博士前期課程)を開設しました。更に、昭和42(1967)年、順天堂第2番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属伊豆長岡病院(94床)(現在の静岡病院)」を開院し、順天堂大学の地方への更なる発展を進めました。

第六代堂主(理事長)・東健彦は、昭和59(1984)年、順天堂第3番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属浦安病院(250床)」を開院しました。昭和61(1986)年、厳しい運営事情の中、順天堂創立150周年記念事業として、①医学部附属順天堂医院本館(新1号館)の建設、②体育学部新キャンパス移転、③順天堂高等看護専門学校を改組し、医療短期大学を設立し、本郷より浦安市への移転を計画しました。

第七代堂主(理事長)・懸田克躬は、昭和63(1988)年、体育学部を習志野キャンパスからさくらキャンパス(現在の印西市)へ移転し、平成元(1989)年、順天堂医療短期大学を浦安キャンパスに開学しました。更に、財団法人順天堂精神医学研究所附属順天堂越谷病院を順天堂第4番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院(221床)」に改組しました。

第八代堂主(理事長)・石井昌三は、平成5(1993)年、体育学部をスポーツ健康科学部へと改組しました。そして順天堂医院本館(1号館)を完成させ、これにより順天堂創立150周年記念事業が完結されました。この間、静岡病院の拡張・増床など、医学部附属病院群としての地域医療機能充実に努めました。

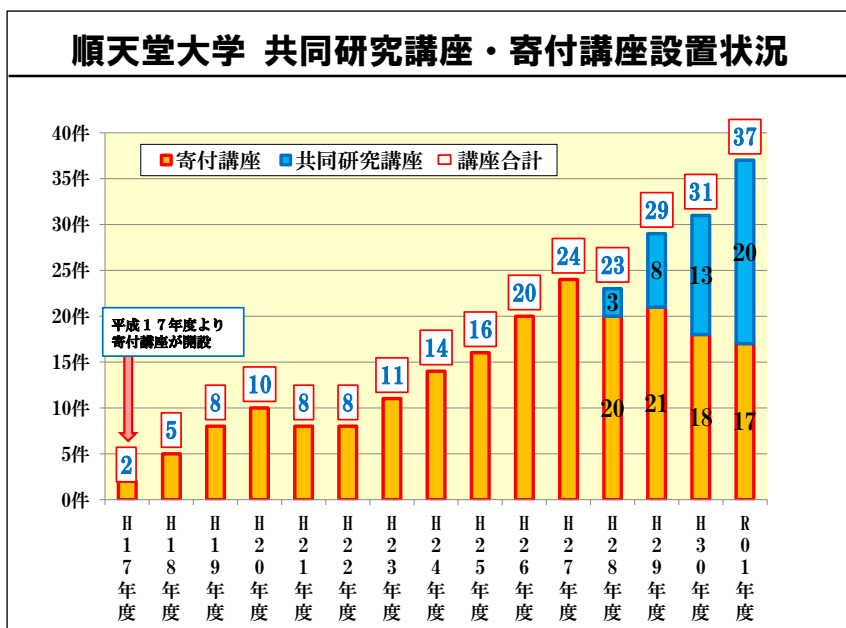
順天堂の看護師養成の歴史も古く、明治29(1896)年、佐藤進は杉本かね[本邦初の看護取締(総婦長)]を登用し、看護婦養成所を開設し、歴代堂主・理事長は講習所、看護学院、准看護婦学院、医学部附属高等看護婦学校、高等看護学校、看護専門学校、医療短期大学(3年制)へと組織体制の転換を進めつつ看護教育を発展させてきました。

そして、**第九代堂主(理事長)・小川秀興**は、平成12(2000)年、学長就任を機として、当時の石井理事長の了承を得て、大学運営の抜本的改革を果すべく、全職域横断的“学長室委員会(現大学運営連絡協議会：運連協)”を設立し、“大学改革20のプロジェクト”を掲げ、次々と斬新的改革を提案・説明・実行していきました。平成16(2004)年、理事長就任後、この委員会はプロジェクトをその時代と状況に応じて変えつつ、大学運営連絡協議会と名前を改め、現在も継続しております。その結果、

- 1.平成12(2000)年、大学院スポーツ健康科学研究科・博士課程が開設されました。
- 2.平成16(2004)年、医療短期大学(3年制)を廃し、順天堂大学第3の学部として4年制の医療看護学部(千葉県浦安市)が開設、拡充されました。

- 3.平成 19 (2007) 年、医療看護学部に大学院医療看護学研究科・修士課程が開設されました。
- 4.平成 22 (2010) 年、第 4 の学部として保健看護学部 (静岡県三島市) が開設されました。
- 5.平成 25 (2013) 年には、海外からの留学生や国内の医学士以外の研究者の為に大学院医学研究科・修士課程が開設されました。
- 6.平成 14 (2002) 年 6 月、東京都江東高齢者医療センターが開院し、平成 16 (2004) 年 4 月より東京都から順天堂に運営移管され、順天堂第 5 番目の医学部附属病院「順天堂東京江東高齢者医療センター」となりました。
- 7.加えて、練馬区も病院誘致計画を進め、多数の応募医療機関の中から学校法人順天堂が選定され、平成 17 (2005) 年、順天堂第 6 番目の医学部附属病院「練馬病院」が開院されました。
- 8.大学内に文部科学省 (文部省) などの認可・助成を受け、最先端の教育研究基盤として、以下のセンター・研究所が設立されました。
 - ①平成 10 (1998) 年:アトピー疾患研究センター
 - ②平成 11 (1999) 年:疾患モデル研究センター
 - ③平成 12 (2000) 年:老人性疾患病態・治療研究センター
 - ④平成 14 (2002) 年:環境医学研究所
 - ⑤平成 15 (2003) 年:感染制御科学研究センター
 - ⑥平成 17 (2005) 年:スポーツ健康医科学研究所
 - ⑦平成 19 (2007) 年:スポーツロジックセンター
 - ⑧平成 20 (2008) 年:国際交流センター
 - ⑨平成 25 (2013) 年:ゲノム・再生医療センター
 - ⑩平成 25 (2013) 年:先導的がん医療開発研究センター
 - ⑪平成 26 (2014) 年:女性スポーツ研究センター
 - ⑫平成 27 (2015) 年:静岡災害医学研究センター
 - ⑬平成 28 (2016) 年:難病の診断と治療研究センター
 - ⑭平成 29 (2017) 年:革新的医療技術開発研究センター (オープンイノベーション「GAUDI」)
 - ⑮令和元 (2019) 年:順天堂かゆみ研究センター
- 9.平成 26 (2014) 年 12 月国際的に活躍する人材養成を目的として第 5 の学部となる「国際教養学部」の設置認可を受け、平成 27 (2015) 年 4 月開設し、国際総合大学・大学院大学としての基盤を固めました。
- 10.平成 30 (2018) 年 8 月高齢化の進展及び医療機器の高度化に伴い、人材ニーズがますます高まっている理学療法士及び診療放射線技師の養成を目的として第 6 の学部となる「保健医療学部」の設置認可を受け、平成 31 (2019) 年 4 月に開設しました。
- 11.令和元 (2019) 年 7 月外国人患者の急増に対応すべく、順天堂医院に国際診療部を設置しました。

12.平成 17 (2005) 年度に開設した寄付講座及び平成 28 (2016) 年度に開設された共同研究講座は年々増加し、令和元 (2019) 年度には共同研究講座 20 件、寄付講座 17 件の計 37 講座が設置されています。



順天堂は、附属 6 病院合計で総病床数 3,443 床を有し、日本最大規模の強固なネットワークを形成しています。附属 6 病院は、先進医療、地域医療、救急医療、周産期医療、高齢者医療、精神医療、がん治療、新規医薬品・医療材料・機器の開発など、国民の医療ニーズに幅広く対応する高い専門性を発展させつつ、総合力に秀でた医育機関として、全国そして国際診療部の設置など国際レベルでの病診・病病連携を強めております。

現在、国際連携大学・研究所としては、北京大学、第四軍医大学(西安)、中国医科大学、中日友好医院(北京)、タイ国立皮膚病学研究所(バンコク)、ベトナム軍医大学、メイヨークリニック、MD アンダーソンがんセンター、シャリテ医科(ベルリン)大学などがあり、国際交流協定校も約 70 校に達し、海外からの留学生・研究生は増え続けています。

学是 仁 人在于て我在り、他を思いやり、慈しむ心。これ即ち「仁」
佐藤 尚中

理念 不断前進
有山 登

学風 三無主義
男女の差、学閥の差、国籍の差、無し 小川 秀興

本学は「不断前進」の理念のもとに学是「仁」を大切にしながら、出身校、国籍、性別の差別のない“三無主義”を学風として掲げ、6 学部 3 研究科 6 附属病院からなる「健康総合大学・大学院大学」として教育・研究・医療そしてリベラル・アーツを通じて国際レベルでの社会貢献と人材育成を進めております。

2020 年 5 月 15 日(創立記念日)
 学校法人 順 天 堂
 理事長 小 川 秀 興

1. 法人の設置する学校

研究科・学部名称		所在地	沿革
大学院	医学研究科	修士課程	平成24. 11. 大学院医学研究科（修士課程）設置認可。 平成25. 4. 同 開設。
		博士課程	昭和34. 3. 大学院医学研究科（博士課程）設置認可。 昭和34. 4. 同 開設。
	スポーツ健康科学研究科	博士前期課程	昭和46. 3. 大学院体育学研究科（修士課程）設置認可。 昭和46. 4. 同 開設。 平成 9. 4. 大学院スポーツ健康科学研究科博士前期課程に改称。
		博士後期課程	平成11. 12. 大学院スポーツ健康科学研究科博士後期課程設置認可。 平成12. 4. 同 開設。
	医療看護学研究科	博士前期課程	平成18. 11. 大学院医療看護学研究科（修士課程）設置認可。 平成19. 4. 同 開設。 平成26. 4. 同 修士課程を博士前期課程に名称変更。
		博士後期課程	平成25. 10. 大学院医療看護学研究科（博士後期課程）設置認可。 平成26. 4. 同 開設。
学部	医学部 医学科	東京都文京区本郷2丁目1番1号	天保9年（1838年）西洋医学塾開塾。以降、江戸（薬研堀）から佐倉（千葉）、東京下谷練馬町、本郷湯島の順天堂醫院にて多くの西洋医学者を育成。 昭和18. 12. （財）順天堂医学専門学校設立認可。 昭和21. 5. （財）順天堂医科大学設置認可。 昭和26. 2. （学）順天堂医科大学認可。 昭和26. 6. 順天堂大学体育学部Ⅱ類（医学進学コース）開設。 昭和27. 2. 新制順天堂大学医学部設置認可。 昭和27. 4. 順天堂大学医学部開設。
	スポーツ健康科学部 スポーツ科学科 スポーツマネジメント学科 健康学科	千葉県印西市平賀学園台1丁目1番地	昭和26. 6. 体育学部Ⅰ類（体育学専攻、健康教育専攻）開設。 昭和46. 1. 体育学部（体育学科、健康学科）設置認可。 平成 4. 12. スポーツ健康科学部設置認可。 平成 5. 4. 体育学部をスポーツ健康科学部へ改組。
			（看護教育沿革） 明治29. 10. 順天堂醫院看護婦養成所開設。 昭和29. 4. 順天堂大学医学部附属順天堂准看護婦学院設置。 昭和36. 3. 同高等看護婦学校開設。 昭和38. 4. 順天堂高等看護学校へ改組。 昭和51. 11. 順天堂看護専門学校へ名称変更。
	医療看護学部 看護学科	千葉県浦安市高洲2丁目5番1号	平成元. 4. 順天堂医療短期大学開設。 平成15. 11. 医療看護学部設置認可。 平成16. 4. 順天堂医療短期大学を順天堂大学医療看護学部へ改組。 平成19. 6. 同短期大学廃止。
	保健看護学部 看護学科	静岡県三島市大宮町3丁目7番33号	平成21. 6. 保健看護学部設置届出。 平成21. 9. 学部設置に伴う収容定員関係学則変更認可。 平成21. 10. 保健師看護師学校指定。 平成22. 4. 保健看護学部開設。
	国際教養学部 国際教養学科	東京都文京区本郷2丁目1番1号	平成26. 12. 国際教養学部設置認可。 平成27. 4. 同 開設。
	保健医療学部 理学療法学科 診療放射線学科	東京都文京区本郷2丁目1番1号	平成30. 8. 保健医療学部理学療法学科・診療放射線学科設置認可。 平成31. 4. 同 開設。

2. 医学部附属病院

病院名称	開設年月日	病床数	所在地
順天堂医院	明治 6. 2. 2	1,051床	東京都文京区本郷3丁目1番3号
静岡病院	昭和 42. 4. 1	577床	静岡県伊豆の国市長岡1129番地
浦安病院	昭和 59. 5. 15	785床	千葉県浦安市富岡2丁目1番1号
順天堂越谷病院	平成 元. 4. 1	226床	埼玉県越谷市袋山560番地
順天堂東京江東高齢者医療センター	平成 14. 6. 3	404床	東京都江東区新砂3丁目3番20号
練馬病院	平成 17. 7. 1	400床	東京都練馬区高野台3丁目1番10号
合計		3,443床	

※病床数は令和2年3月31日現在の稼働数

3. 研究科・学部一覧

研究科・学部・学科名称		取得学位	研究科長・学部長・学科長	
大学院	医学研究科	修士（医科学） 博士（医学）	服部 信孝	
	スポーツ健康科学研究科	修士（スポーツ健康科学） 博士（ " ）	内藤 久士	
	医療看護学研究科	修士（看護学） 博士（ " ）	植木 純	
学部	医学部 医学科	学士（医学）	服部 信孝	
	スポーツ健康科学部	学士（学位名は下記のとおり）	吉村 雅文	
		スポーツ科学科	学士（スポーツ科学）	中村 充
		スポーツマネジメント学科	学士（スポーツマネジメント学）	廣津 信義
		健康学科	学士（健康学）	柴田 展人
		医療看護学部 看護学科	学士（看護学）	工藤 綾子
	保健看護学部 看護学科	学士（看護学）	大熊 泰之	
	国際教養学部 国際教養学科	学士（国際教養学）	加藤 洋一	
	保健医療学部	学士（学位名は下記のとおり）	代田 浩之	
		理学療法学科	学士（理学療法学）	藤原 俊之
		診療放射線学科	学士（放射線技術学）	京極 伸介

4. 大学院附属研究センター及び大学附属研究センター

研究センター名称	センター長	開設時の文部科学省補助事業	開設年月日	初代センター長
アトピー疾患研究センター	奥村 康	学術フロンティア推進事業	平成 10. 11. 19	小川 秀興
疾患モデル研究センター	服部 信孝	学術フロンティア推進事業	平成 11. 4. 1	小川 秀興
老人性疾患病態・治療研究センター	内山 安男	ハイテク・リサーチ・センター整備事業	平成 12. 3. 21	水野 美邦
環境医学研究所	高森 建二	ハイテク・リサーチ・センター整備事業	平成 14. 9. 19	小川 秀興
感染制御科学研究センター	平松 啓一	21 世紀 COE プログラム	平成 15. 4. 1	平松 啓一
研究基盤センター	服部 信孝	—	平成 15. 10. 1	木南 英紀
スポーツ健康医科学研究所	内藤 久士	ハイテク・リサーチ・センター整備事業	平成 17. 10. 1	小川 秀興
スポーツロジックセンター	河盛 隆造	ハイテク・リサーチ・センター整備事業	平成 19. 4. 24	小川 秀興
国際交流センター	小川 秀興	—	平成 20. 11. 1	小川 秀興
ゲノム・再生医療センター	新井 一	戦略的研究基盤形成支援事業	平成 25. 10. 1	新井 一
先導的がん医療開発研究センター	服部 信孝	研究拠点形成費等補助金	平成 25. 11. 1	新井 一
女性スポーツ研究センター	小笠原悦子	戦略的研究基盤形成支援事業	平成 26. 8. 1	小笠原悦子
静岡災害医学研究センター	佐藤 浩一	戦略的研究基盤形成支援事業	平成 27. 10. 1	佐藤 浩一
難病の診断と治療研究センター	岡崎 康司	—	平成 28. 4. 1	新井 一

5. 法人の設置する大学院・大学の入学定員、学生数等

研究科・学部・学科名称	修業 年限	入学 定員	入学 者※1	収容 定員	在籍者※2・3								
					1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次			
大学院	医学研究科	修士課程	2年	30	41	50	77	41 (30)	36 (20)	-	-	-	-
		博士課程	4年	160	179	580	628	170 (160)	170 (140)	152 (140)	136 (140)	-	-
	スポーツ健康 科学研究科	博士前期課程	2年	61	56	122	113	54 (61)	59 (61)	-	-	-	-
		博士後期課程	3年	10	21	30	37	19 (10)	10 (10)	8 (10)	-	-	-
	医療看護学 研究科	博士前期課程	2年	20	26	35	47	26 (20)	21 (15)	-	-	-	-
		博士後期課程	3年	10	11	24	33	11 (10)	9 (7)	13 (7)	-	-	-
大学院 計			291	334	841	935	321 (291)	305 (253)	173 (157)	136 (140)	-	-	
学部	医学部 医学科		6年	140	141	798	812	141 (140)	142 (140)	136 (137)	134 (130)	131 (127)	128 (124)
	スポーツ健康科学部		4年	410	410	1,560	1,534	409 (410)	401 (410)	405 (410)	319 (330)	-	-
	スポーツ科学科		4年	250	250	940	923	249 (250)	243 (250)	248 (250)	183 (190)	-	-
	スポーツマネジメント学科		4年	80	80	310	306	80 (80)	79 (80)	79 (80)	68 (70)	-	-
	健康学科		4年	80	80	310	305	80 (80)	79 (80)	78 (80)	68 (70)	-	-
	医療看護学部 看護学科		4年	200	200	800	806	199 (200)	202 (200)	202 (200)	203 (200)	-	-
	保健看護学部 看護学科		4年	120	123	480	484	124 (120)	119 (120)	122 (120)	119 (120)	-	-
	国際教養学部 国際教養学科		4年	240	250	600	613	249 (240)	119 (120)	122 (120)	123 (120)	-	-
	保健医療学部		4年	240	244	240	244	244 (240)	-	-	-	-	-
	理学療法学科		4年	120	122	120	122	122 (120)	-	-	-	-	-
診療放射線学科		4年	120	122	120	122	122 (120)	-	-	-	-	-	
学部 計			1,350	1,368	4,478	4,493	1,366 (1,350)	983 (990)	987 (987)	898 (900)	131 (127)	128 (124)	

※1 入学者欄は平成31年4月に入学した学生数
 ※3 在籍者欄下段は、該当年次入学時の入学定員数

※2 在籍者欄は令和2年3月31日における学生数

6. 役員

区分	氏名	主な役職
理事長	小川 秀興	
理事	新井 一	学長
	木南 英紀	学長特別補佐
	服部 信孝	医学部長、大学院医学研究科長
	吉村 雅文	スポーツ健康科学部長
	工藤 綾子	医療看護学部長
	大熊 泰之	保健看護学部長
	加藤 洋一	国際教養学部長
	代田 浩之	保健医療学部長
	内藤 久士	大学院スポーツ健康科学研究科長
	植木 純	大学院医療看護学研究科長
	高橋 和久	順天堂医院長
	佐藤 浩一	静岡病院長
	吉田 幸洋	浦安病院長
	高崎 芳成	順天堂越谷病院長
	津田 裕士	順天堂東京江東高齢者医療センター院長
	児島 邦明	練馬病院長
	宮野 武	練馬病院名誉院長
	高森 建二	大学院医学研究科環境医学研究所長
	佐藤 信紘	特任教授
	多田 宏	非常勤
永田 良一	非常勤	
監事	辛島 睦	非常勤
	濱本 英輔	非常勤

7. 評議員

<選任条項順に記載>

児島 邦明 吉田 幸洋 佐藤 浩一 村上 晶 金子 和夫 長岡 功 内藤 久士
 青木 和浩 加藤 洋一 島内 憲夫 細谷 芳三 幅下 貞美 小林 忠彦 桑鶴 良平
 佐藤 潔 森近 浩 高森 建二 代田 浩之 中澤 真逸 濱野 光之 土屋 清子
 小川 秀興 新井 一 服部 信孝 吉村 雅文 工藤 綾子 大熊 泰之 高橋 和久
 多田 宏 佐藤 信紘 木南 英紀 宮野 武 三橋 直樹 高崎 芳成 津田 裕士
 天野 篤 植木 純 丸木 親 奥村 康 岡田 隆夫 稲富 恵子 澤木 啓祐
 青木きよ子 永田 良一 照沼 則子 (計 45名)

8. 教職員数

(1) 教員数

(令和2年3月31日現在)

(単位：名)

学長
1

	教授	先任准教授	准教授	講師	助教	助手	常勤計	非常勤	計
大 学 院	211	14	53	4	59	5	346	192	538
(内訳)									
医学研究科	181	10	52	4	57	4	308	137	445
スポーツ健康科学研究科	17	3	0	0	2	1	23	12	35
医療看護学研究科	13	1	1	0	0	0	15	43	58
学 部	41	120	344	37	397	406	1,345	2,835	4,180
(内訳)									
医 学 部	4	89	296	16	339	400	1,144	2,453	3,597
スポーツ健康科学部	6	15	17	4	13	5	60	139	199
医療看護学部	0	6	17	4	25	1	53	67	120
保健看護学部	9	3	5	9	8	0	34	58	92
国際教養学部	12	2	5	2	8	0	29	110	139
保健医療学部	10	5	4	2	4	0	25	8	33
合 計	252	134	397	41	456	411	1,691	3,027	4,718

※上記内、併任教員数

教員数合計(本務・併任合計)

	教授	准教授	講師	助教	計
大学院本務教員 内学部併任教員	159	49	1	27	236
学部本務教員内 大学院併任教員	6	385	15	21	427

	教員数
大学院	965
学 部	4,416

(2) 職員数

事務職	技術職	医療職	教務職	その他	計
683	19	4,636	40	102	5,480

教職員合計
10,199

<参考：令和元年度臨床研修医受入数（括弧内は令和元年度新規受入数）>

順天堂医院	静岡病院	浦安病院	練馬病院	計
95 (51)	44 (23)	84 (44)	63 (31)	286 (149)

9. 研究費・補助金

(1) 補助金

① 文部科学省・(独) 日本学術振興会：科学研究費助成事業

研究種目名	区分	採択件数 (件)		直接経費 (千円)		間接経費 (千円)	
新学術領域研究 (研究領域提案型)	新規	2	4	73,500	95,200	22,050	28,560
	継続	2		21,700		6,510	
基盤研究(A)	新規	1	2	28,300	38,200	8,490	11,460
	継続	1		9,900		2,970	
基盤研究(B)	新規	10	35	55,200	152,000	16,560	45,600
	継続	25		96,800		29,040	
基盤研究(B)特設	新規		1		4,600		1,380
	継続	1		4,600		1,380	
基盤研究(C)	新規	96	290	115,400	304,750	34,620	91,425
	継続	194		189,350		56,805	
挑戦的研究(萌芽)	新規	5	9	11,600	18,900	3,480	5,670
	継続	4		7,300		2,190	
若手研究(A)	新規		1		5,200		1,560
	継続	1		5,200		1,560	
若手研究(B)	新規		17		13,700		4,110
	継続	17		13,700		4,110	
若手研究	新規	84	146	119,400	189,900	35,820	56,970
	継続	62		70,500		21,150	
研究活動スタート支援	新規	10	12	11,000	13,200	3,300	3,960
	継続	2		2,200		660	
国際共同研究強(A)	新規		5				
	継続	5					
国際共同研究強(B)	新規	4	7	15,600	30,200	4,680	9,060
	継続	3		14,600		4,380	
特別研究員奨励費	新規	4	10	4,600	10,200	1,050	1,380
	継続	6		5,600		330	
奨励研究	新規	4	4	2,160	2,160		
	継続						
合計	新規	220	543	436,760	878,210	130,050	261,135
	継続	323		441,450		131,085	

② 文部科学省：科学技術人材育成費補助金

事業名	採択件数 (件)	決定額 (千円)
卓越研究員事業	1	2,000
合計	1	2,000

③ 文部科学省：大学改革推進等補助金

事業名	採択件数 (件)	決定額 (千円)
大学・大学院及び附属病院における人材養成機能強化事業（基礎研究医養成活性化プログラム）	1	1,024
合計	1	1,024

④ 文部科学省：戦略的研究基盤形成支援事業

研究期間	研究代表者	プロジェクト名
平成 27 年度～ 平成 31 年度	静岡災害医学研究センター 佐藤浩一 センター長（教授）	大規模災害に対応する包括的医療提供体制構築を目指す統合型研究拠点の形成

⑤ 厚生労働省：厚生労働科学研究費補助金

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
厚生労働科学特別研究事業	1	2,400	720
がん対策推進総合研究事業	1	11,782	3,534
難治性疾患政策研究事業	1	6,237	1,871
長寿科学政策研究事業	1	3,746	1,123
エイズ対策政策研究事業	1	11,077	3,323
地域医療基盤開発推進研究事業	2	7,309	2,191
労働安全衛生総合研究事業	1	1,956	586
合計	8	44,507	13,348

⑥ 厚生労働省：労災疾病臨床研究事業費補助金

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
労災疾病臨床研究事業費補助金	2	17,688	5,302
合計	2	17,688	5,302

⑦ 厚生労働省：慢性疼痛診療体制構築モデル事業費補助金

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
慢性疼痛診療体制構築モデル事業費補助金	1	15,000	0
合計	1	15,000	0

(2) 委託費

① 文部科学省

プログラム名	採択件数(件)	直接経費(千円)	一般管理費(千円)
女性アスリートの戦略的強化に向けた調査研究	1	10,909	1,091
合 計	1	10,909	1,091

② 厚生労働省

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
認定再生医療等委員会の審査の質向上事業	1	44,000	0
合 計	1	44,000	0

③ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費等(千円)
次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業	3	52,808	15,842
創薬基盤推進研究事業	2	29,538	8,862
再生医療実用化研究事業	2	109,842	32,952
再生医療実現拠点ネットワークプログラム	2	51,900	15,570
革新的がん医療実用化研究事業	1	3,847	1,154
次世代がん医療創成研究事業	1	15,000	4,500
長寿・障害総合研究事業	1	4,023	247
脳科学研究戦略推進プログラム	1	10,000	3,000
脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	1	17,732	5,319
戦略的国際脳科学研究推進プログラム	2	110,002	32,998
難治性疾患実用化研究事業	4	83,096	24,929
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	1	12,000	3,600
腎疾患実用化研究事業	1	7,280	2,184
免疫アレルギー疾患実用化研究事業	1	10,000	3,000
革新的先端研究開発支援事業	1	15,735	4,720
臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業	2	130,615	39,185
創薬支援推進事業・創薬総合支援事業	2	13,680	1,368
研究データの質向上の指導者育成プログラム開発事業	1	1,538	462
合 計	29	678,636	199,892

④ 国立研究開発法人科学技術振興機構

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
研究成果展開事業 (COI)	1	24,220	6,055
合計	1	24,220	6,055

⑤ 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
希少疾病用再生医療品等開発支援事業	1	19,392	2,908
合計	1	19,392	2,908

⑥ 国立医薬品食品衛生研究所

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
次世代医療機器・再生医療等製品評価指標作成事業	1	2,308	692
合計	1	2,308	692

10. 寄付講座

寄付講座名	寄付者	設置期間	責任者等
プロバイオティクス研究 (ヤクルト) 講座	株式会社ヤクルト本社	H17. 4. 1 ～R3. 3. 31	医学研究科 特任教授 山城雄一郎
先進糖尿病治療学講座	(非公開)	H18. 4. 1 ～R2. 3. 31	代謝内分泌内科学 教授 綿田 裕孝
地域総合診療研究講座 (越谷市)	埼玉県越谷市	H23. 5. 1 ～R2. 3. 31	医学研究科 研究科長 服部 信孝
運動障害疾患病態研究・ 治療講座	日本メドトロニック株式会社 ポストン・サイエンティフィックジャパン株式会社 協和キリン株式会社 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 アッヴィ合同会社 (1社非公開)	H24. 4. 1 ～R3. 3. 31	神経学 教授 服部 信孝
脳神経血管内治療学講座	テルモ株式会社 日本ストライカー株式会社 株式会社カネカメディックス 日本メドトロニック株式会社	H24. 8. 1 ～R3. 7. 31	脳神経外科学 教授 新井 一
パーキンソン病病態解明 研究講座	大塚製薬株式会社 山岸広太郎 アッヴィ合同会社 Meiji Seika ファルマ株式会社 小野薬品工業株式会社 富士フィルム和光純薬株式会社	H25. 4. 1 ～R4. 3. 31	神経学 教授 服部 信孝

寄付講座名	寄付者	設置期間	責任者等
遺伝子疾患先端情報学講座	大塚製薬株式会社 ジェネシスヘルスケア株式会社 株式会社イグニス	H26. 4. 1 ～R2. 3. 31	泌尿器外科学 教授 堀江 重郎
多発性硬化症および神経難病治療・研究講座	大原薬品工業株式会社 小野薬品工業株式会社 旭化成メディカル株式会社 田辺三菱製薬株式会社 日本製薬株式会社 アッヴィ合同会社	H26. 10. 1 ～R2. 9. 30	神経学 教授 服部 信孝
ジェロントロジー ：医学・健康学応用講座	株式会社東急不動産 R&D センター 東急不動産株式会社 株式会社東急イーライフデザイン	H27. 1. 1 ～R2. 12. 31	特任教授 佐藤 信紘
心血管睡眠呼吸医学講座	フィリップス・レスピロニクス合同会社 フクダ電子株式会社 レスメド株式会社	H27. 4. 1 ～R3. 3. 31	循環器内科学 特任教授 代田 浩之
運動器・腫瘍性疾患病態学講座	中外製薬株式会社 サントリーウェルネス株式会社 久光製薬株式会社 日本ストライカー株式会社 株式会社太田胃散 大正製薬株式会社 ジンマー・バイオメット合同会社	H27. 4. 1 ～R3. 3. 31	整形外科・運動器医学 教授 金子 和夫
乳酸菌生体機能研究講座	明治ホールディングス株式会社	H27. 4. 1 ～R3. 3. 31	免疫学 特任教授 奥村 康
糖尿病治療標的探索医学講座	(非公開)	H28. 4. 1 ～R4. 3. 31	代謝内分泌内科学 教授 綿田 裕孝
腸内フローラ研究講座	森永乳業株式会社	H29. 4. 1 ～R4. 3. 31	特任教授 佐藤 信紘
マイクロバイオーム研究講座	アサヒグループホールディングス株式会社	H30. 3. 1 ～R3. 2. 28	医学研究科 研究科長 服部 信孝
免疫診断学講座	株式会社エスアールエル	H30. 4. 1 ～R3. 3. 31	免疫学 特任教授 奥村 康
神経疾患病態構造学講座	武田薬品工業株式会社	H30. 4. 1 ～R3. 3. 31	神経学 教授 服部 信孝

※責任者等の職制は、令和2年3月31日の現職を記載

11. 共同研究講座

共同研究講座名	共同研究者	設置期間	責任者等
戦略的手術室改善マネジメント講座	株式会社ホギメディカル	H28. 10. 1 ～R3. 9. 30	心臓血管外科学 教授 天野 篤
次世代血液検査医学講座	シスメックス株式会社	H28. 12. 1 ～R4. 11. 30	次世代血液検査医学講座 特任教授 田部 陽子
次世代細胞・免疫治療学講座 (江川記念 SETA 講座)	医療法人社団滉志会	H29. 4. 1 ～R4. 3. 31	学 長 新井 一
オートファジー調節化合物探索研究講座	大日本住友製薬株式会社	H29. 4. 1 ～R2. 3. 31	神経学 教授 服部 信孝
居住環境神経生理学研究講座	株式会社フジタ	H29. 7. 1 ～R2. 3. 31	病院管理学 教授 小林 弘幸
創傷治癒学先端研究講座	佐藤製薬株式会社	H29. 10. 1 ～R2. 9. 30	形成・再建外科学 教授 水野 博司
認知症診断・予防・治療学講座	エーザイ株式会社 日本メジフィジックス株式会社	H30. 1. 1 ～R2. 12. 31	神経学 教授 服部 信孝
免疫病・がん先端治療学講座	キッセイ薬品工業株式会社	H30. 4. 1 ～R3. 3. 31	免疫学 特任教授 奥村 康
グラノーラ健康科学・予防医学講座	カルビー株式会社	H30. 5. 1 ～R3. 4. 30	心臓血管外科学 教授 天野 篤
抗加齢皮膚医学研究講座	株式会社ファンケル総合研究所	H30. 6. 1 ～R3. 5. 31	環境医学研究所 特任教授 高森 建二
データサイエンス推進講座	コンバージェンス・シーティー・ジャパン株式会社	H30. 12. 1 ～R3. 11. 30	放射線診断学 教授 桑鶴 良平
神経変性・認知症疾患共同研究講座	キリンホールディングス株式会社 三菱 UFJ リース株式会社 グローリー株式会社 日本生命保険相互会社 三菱 UFJ 信託銀行株式会社	H30. 12. 1 ～R3. 11. 30	神経学 教授 服部 信孝
オルガノイド開発研究講座	エーザイ株式会社	H31. 4. 1 ～R4. 3. 31	神経学 教授 服部 信孝
循環器遠隔管理学講座	パラマウントベッド株式会社	R1. 5. 1 ～R4. 4. 30	循環器内科学 特任教授 代田 浩之

共同研究講座名	共同研究者	設置期間	責任者等
超高精細画像医療応用講座	(非公開)	R1. 6. 1 ～R4. 5. 31	特任教授 佐藤 信紘
ICT 制御に基づく在宅医療開発講座	株式会社サンウェルズ	R1.10. 1 ～R4. 9. 30	神経学 教授 服部 信孝
デジタルヘルス・遠隔医療研究開発講座	株式会社フィリップス・ジャパン 東邦ホールディングス株式会社 旭化成株式会社 インターリハ株式会社	R1.11. 1 ～R4. 10. 31	保健医療学部 学部長 代田 浩之
腸内細菌療法研究講座	キリンホールディングス株式会社	R1.12. 1 ～R4. 11. 30	消化器内科学 教授 永原 章仁
先端予防医学・健康情報学講座	株式会社クレディセゾン	R2. 1. 1 ～R4. 12. 31	総合診療科学 教授 内藤 俊夫
集団感染予防学講座	大幸薬品株式会社	R2. 1. 1 ～R4. 12. 31	小児思春期発達・病態学 教授 清水 俊明

※責任者等の職制は、令和2年3月31日の現職を記載

12. 授業料等学生が納付する金額

大学院・学部		入学金※1	授業料	施設設備費	実験実習費	教育充実費	初年度合計	
大学院	医学研究科	博士課程	200,000	400,000	-	150,000	-	750,000
		修士課程	200,000	400,000	150,000	-	-	750,000
	スポーツ健康科学研究科	200,000	550,000	-	50,000	-	800,000	
	医療看護学研究科	200,000	550,000	-	50,000	-	800,000	
学部	医学部	1年次	2,000,000	700,000	200,000	-	-	2,900,000
		2年次以降	-	2,000,000	860,000	-	720,000	3,580,000
	スポーツ健康科学部	200,000	700,000	300,000	-	150,000	1,350,000	
	医療看護学部	300,000	900,000	300,000	350,000※2	-	1,850,000	
	保健看護学部	300,000	900,000	300,000	140,000※3	-	1,640,000	
	国際教養学部	300,000	1,000,000	-	-	250,000	1,550,000	
	保健医療学部	300,000	1,000,000	300,000	150,000※4	-	1,750,000	

※1 入学時のみ、※2 4年次に助産学に関する実習を受講する場合には、実習費として別途350,000円を加算

※3 2年次以降は420,000円、※4 2年次以降は480,000円

13. 学位記授与数

※学位記授与数にて甲は課程修了者、乙は学位論文提出者

大学院医学研究科

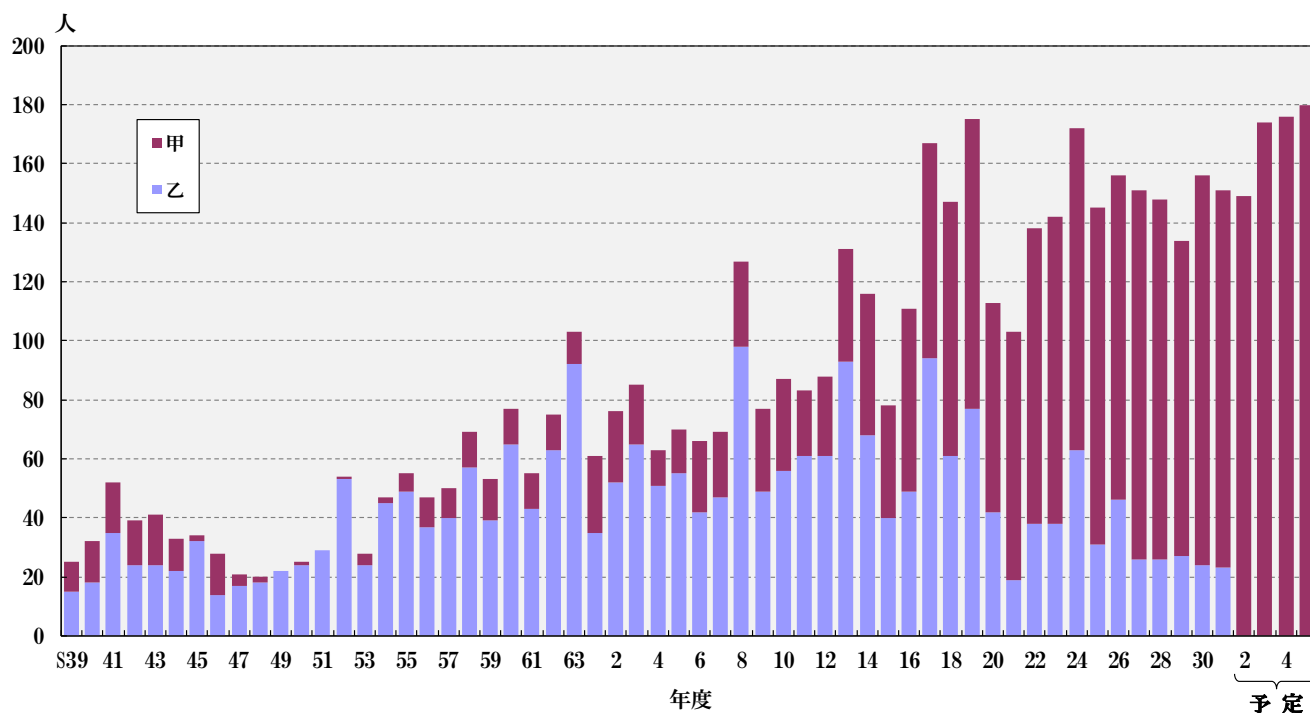
(単位:名)

区 分	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員 (博士)	120	120	120	140	
” 入学者数 (”)	121	127	142	140	
博士 (医学) 甲 学位記授与数	121	107	132	128	《2,264》
満期退学後学位取得者数	1	0	0	0	
博士 (医学) 乙 学位記授与数	26	27	24	23	《2,468》
当該年度修了者の入学時入学定員 (修士)	20	20	20	20	
” 入学者数 (”)	27	25	31	38	
修士 (医科学) 学位記授与数	24	26	29	35	《166》

令和2年3月

順天堂大学 博士 (医学) 学位授与者数推移

甲 2,264号 乙 2,468号 (計:4,732号)



◎ 平成28～令和元年度学位取得者

甲論文 (英文98.2%) 平均IF ≒ 3.208

乙論文 (英文95.0%) 平均IF ≒ 2.340

大学院スポーツ健康科学研究科

(単位:名)

区 分	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員 (博士)	10	10	10	10	
” 入学者数 (”)	13	12	16	10	
博士 (スポーツ健康科学) 甲 学位記授与数	8	7	20	3	《79》
満期退学後学位取得者数	0	1	1	0	
博士 (スポーツ健康科学) 乙 学位記授与数	3	3	0	1	《23》
当該年度修了者の入学時入学定員 (修士)	61	61	61	61	
” 入学者数 (”)	60	56	67	61	
修士 (スポーツ健康科学) 学位記授与数	57	51	64	59	《1,149》

大学院医療看護学研究科

(単位:名)

区 分	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員 (博士)	7	7	7	7	
” 入学者数 (”)	11	11	7	6	
博士 (看護学) 甲 学位記授与数	7	7	6	5	《25》
当該年度修了者の入学時入学定員 (修士)	15	15	15	15	
” 入学者数 (”)	21	22	15	22	
修士 (看護学) 学位記授与数	20	22	16	20	《203》

14. 学部卒業生数

(単位:名、括弧内()は女子学生数)

学部・学科名称	取得学位(学士)	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	備考《累計》
医学部 医学科	医学	123 (38)	123 (37)	120 (38)	126 (39)	医専卒 《 319》 医科大卒 《 89》 学部卒 《5,249》 累計 《5,657》
スポーツ健康科学部		332 (108)	320 (102)	328 (103)	319 (103)	体育学部卒 《5,207》 スポーツ健康科学部卒 《7,588》 累計 《12,795》
スポーツ科学科	スポーツ科学	190 (55)	184 (52)	188 (52)	183 (54)	
スポーツマネジメント学科	スポーツマネジメント学	72 (27)	66 (24)	69 (26)	68 (24)	
健康学科	健康学	70 (26)	70 (26)	71 (25)	68 (25)	
医療看護学部 看護学科	看護学	202 (189)	192 (182)	199 (193)	203 (198)	講習所 《1,182》 看護学院 《 29》 准看護婦学院 《 132》 高等看護学校 《 775》 看護専門学校 《1,194》 医療短期大学 《1,476》 医療看護学部 《2,387》 累計 《7,175》
保健看護学部 看護学科	看護学	119 (109)	119 (110)	124 (113)	119 (108)	累計 《 833》
国際教養学部 国際教養学科	国際教養学	—	—	105 (67)	114 (76)	累計 《 219》

15. 卒業後の進路状況

※修了者には博士課程単位取得満期退学者を含む

大学院・学部		進路	人数	修了者数・卒業者数	
大学院	医学研究科	博士課程	大学・研究機関	71名	129名
			医療機関	29名	
			民間企業	11名	
			その他	18名	
		修士課程	大学・研究機関	7名	35名
			医療機関	3名	
			民間企業	8名	
			進学	12名	
	スポーツ健康科学研究科	博士後期課程	教員・研究機関	2名	3名
			就職（民間企業・公務員等）	1名	
			その他	0名	
		博士前期課程	教員・研究機関	16名	59名
就職（民間企業・公務員等）			33名		
進学			7名		
その他			3名		
医療看護学研究科		博士後期課程	大学病院等医療機関・保健医療機関	0名	5名
	教員・研究機関		5名		
	その他		0名		
	博士前期課程	大学病院等医療機関・保健医療機関	14名	20名	
		教員・研究機関	3名		
		進学	1名		
その他	2名				
学部	医学部	初期臨床研修医（本学医学部附属病院）	81名	126名	
		〃（他大学医学部附属病院）	7名		
		〃（大学病院以外の臨床研修指定病院）	37名		
		その他	1名		
	スポーツ健康科学部	教員・研究機関	61名	319名	
		就職（民間企業・公務員等）	216名		
		進学	30名		
		その他	12名		
	医療看護学部	本学医学部附属病院	191名	203名	
		本学以外の医療機関	9名		
		進学	1名		
		その他	2名		
	保健看護学部	本学医学部附属病院	86名	119名	
		本学以外の医療機関	30名		
		進学	1名		
		その他	2名		
	国際教養学部	教員・研究機関	0名	114名	
		就職（民間企業・公務員等）	96名		
進学		10名			
その他		8名			

16. 教育研究活動の主な概要

【法人・大学】

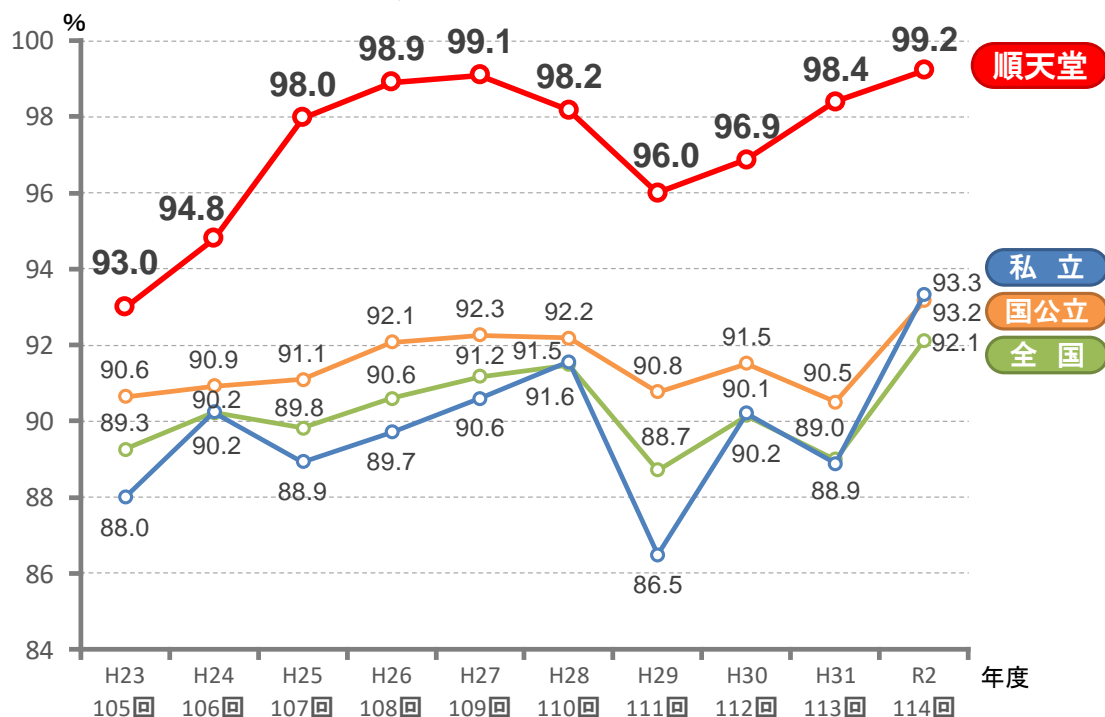
オープンイノベーションプログラム「GAUDI」

令和元年7月1日より新たな医療技術の実用化を目的としたオープンイノベーションプログラム「GAUDI (Global Alliance Under the Dynamic Innovation)」がスタートしました。GAUDIは本学の強みである臨床力を存分に生かして国内外の開発シーズの新たな価値を創出し、社会実装（実用化）に繋げるために発足した取り組みであり、様々な企業、医療機関、大学等との連携を通して、社会の課題解決と発展に繋がるイノベーションが生み出されていくことが期待されます。

【大学院医学研究科・医学部】

医師国家試験合格率推移

今年度の第114回医師国家試験の合格率は99.2%で全国国公立大学80校中4位、直近10年間平均の合格率は全国2位でした。



医学研究科修士課程 公衆衛生学コースの開講

大学院医学研究科の入学定員は平成31年4月から博士課程160名（20名増）、修士課程30名（10名増）となりました。また、修士課程は、従来の医科学コースに加え、公衆衛生学コースを新たに開設し、2コース体制となりました。公衆衛生学コースでは、疫学、生物統計学、社会科学・行動学、保健行政・医療管理学などを修め、臨床研究を実施するための実務・運営能力を身につけた高度専門職業人や保健施策、健康指導、国際保健活動などグローバルヘルスの現場に必要とされる実践的能力を持った専門家等を養成します。

順天堂かゆみ研究センター設置

令和元年8月1日に大学院医学研究科環境医学研究所にアジア初の難治性かゆみの克服を目指すかゆみの研究拠点「順天堂かゆみ研究センター（Juntendo Itch Research Center：JIRC）」を開設しました。環境医学研究所は、平成14年から文部科学省補助事業の支援を受けて開設し、従来の治療法が効果を発揮しない難治性かゆみの発症機構解明と予防・治療法の開発に関する研究を展開し、国内外で高く評価されています。難治性かゆみ研究センターでは、この分野の更なる研究の発展に取り組み、研究成果の社会還元を推進します。

【大学院スポーツ健康科学研究科・スポーツ健康科学部】**教員採用試験・就職率**

教員採用試験は、現役生・既卒生合わせ109名（補欠合格・私学含む）が合格しました。うち現役生の合格者数は36名でした。企業就職志望者190名の就職内定率は100%となり、平成27年度から5年連続で就職内定率100%を達成しました。

国際交流活動の活性化

スポーツ健康科学部・スポーツ健康科学研究科では、国際化の更なる推進を目指して、令和元年度に以下の国際交流活動を実施しました。

- ・カセサート大学（タイ）と連携したスポーツ科学・マネジメント研修の受入れ
- ・世界リレー選手権（横浜）のナショナルチーム（イタリア・フィンランド）の事前キャンプの受入れ
- ・北京体育大学・漢語国際教育課程の実習生（3名）の受入れ
- ・北京体育大学との教員交流の実施
- ・香港理工大学・スカッシュ部の合同合宿の受入れ及び学生間交流活動の実施

【大学院医療看護学研究科・医療看護学部・保健看護学部】**看護師・保健師・助産師国家試験合格率**

	看護師	保健師	助産師
医療看護学部	98.1%	97.8%	100%
保健看護学部	96.7%	94.5%	—
全国平均（参考）	89.2%	91.5%	99.4%

専門看護師認定実績

医療看護学研究科（博士前期課程）修了生8名が令和元年度専門看護師（CNS：Certified Nurse Specialist）認定試験に合格しました（慢性疾患看護分野1名、感染症看護分野2名、老人看護2名、精神看護1名、母性看護1名、在宅看護1名）。これまでのCNS合格者数は、慢性疾患看護分野20名、がん看護分野11名、精神看護分野4名、老人看護分野4名、小児看護分野3名、感染症看護分野6名、母性看護1名、在宅看護1名の合計50名です。

また令和2年1月、これらに加えてクリティカルケア看護CNSコース新設の認定を日本看護系大学協議会より受け、令和2年4月より、計9分野でのCNS教育課程を展開します。

【国際教養学部】

国際教養学部入学定員増

国際教養学部は平成 27 年 4 月に開設し、平成 31 年 3 月に完成年度を迎えました。本学部での学修を活かし、国際分野での活躍を通して社会貢献を目指す志願者の十分な受け入れを図るため、平成 30 年 7 月に文部科学大臣より入学定員 120 名から 240 名へ増員の認可を受け、平成 31 年 4 月には 250 名の学生が入学しました。

英語集中学習プログラムの実施

英語力向上を目的として、令和元年 8 月 25 日から 9 月 21 日までの約 1 か月間、145 名の学生がフィリピン・セブ島での英語集中学習プログラムに参加しました。これまでの英語圏の短期語学留学に例を見ない、魅力的なカリキュラムと指導方法が取り入れられており、前年度参加した学生からの評価が高く、今年度は前年度比 2 倍以上の学生が参加し満足度が高いプログラムとなりました。

就職率・大学院進学

令和 2 年 3 月に卒業した第 2 期生のうち企業就職志望者 96 名の就職内定率は 98.0%となり、全国平均を上回る順調な結果となりました。大学院等への進学者は、海外や本学を含め 12 名となりました。

【保健医療学部】

保健医療学部開設記念国際シンポジウムの開催

平成 31 年 4 月の本学部開設を記念し、6 月 8 日に『順天堂大学保健医療学部開設記念国際シンポジウム ～高齢化社会におけるチーム医療のあり方～』を開催しました。海外で活躍する研究者 4 名を演者として招聘し、理学療法学・診療放射線学の領域ともに深く関係する高齢化社会と今後目指すべきチーム医療についての講演を全編英語にて実施しました。

特別講演『AI の最新動向と医療画像』の開催

本学部の特別講演として、令和元年 10 月 19 日に『AI の最新動向と医療画像』を開催しました。医療分野における最先端の AI 技術の開発・研究を行っている NVIDIA 社を招聘し、AI 最新技術の動向や深層学習のデモ、ヘルスケア分野における AI 技術の活用事例などに関する講演が行われました。本講演には本学部 1 年生も参加し、理学療法学・診療放射線学の両領域にも深く関係する最先端の AI 医療技術について学習しました。

共同研究講座 デジタルヘルス・遠隔医療研究開発講座の開設

令和元年 11 月に本学部初の共同研究講座として、デジタルヘルス・遠隔医療研究開発講座を新規設置しました。本講座では、デジタルヘルスを活用し、遠隔診療システムと遠隔リハビリテーションプログラムを開発して効果的な診療を提供することを目的としています。

JD TelTech workshop in Juntendo University の開催

令和元年 12 月 2 日に保健医療学部が主催する『JD TelTech workshop in Juntendo University』を開催しました。デンマークのオールボー大学、オーフス大学、ビボー地域病院、デンマーク工科大学などから、遠隔医療やデジタルヘルスなどの研究者に参加頂き、相互の研究に関する発表や遠隔診療や遠隔リハビリテーションの取り組みについてディスカッション、順天堂医院の見学などを行いました。

17. 臨床活動の主な概要

【順天堂医院】

入院支援センター開設

令和元年5月、B棟2階に入院支援センターを開設しました。入院予約となる患者に対して、入院の申し込みと説明、看護師がお話を伺うことにより患者の状態を把握し、入院に対する不安の解消を目指します。入院治療をされる患者が安心して入院生活を送り、退院後の療養生活を不安なく過ごしていけるよう支援します。

術前外来開設

令和元年5月、入院支援センター開設とともにB棟2階に術前外来を開設しました。予定手術を受ける患者を対象に、麻酔科医や歯科医、歯科衛生士、薬剤師、看護師からなるチームが診察や面談を行います。患者が安心して安全に手術を受けられるよう術前外来チームがサポートしていきます。

1,051床への増床

令和元年10月、国家戦略特区高度医療提供事業の一環として、これまでの1,032床から19床増床し、当院の最終計画である1,051床となりました。

足の疾患センター開設

日本には足病学に対する教育や専門制度がなく、足の疾患を専門的に診療出来る体制がありません。高齢化社会が進むなか、健康寿命を延伸するための「歩行」を維持することは重要な課題の一つであり、適切な知識と高い技術を併せ持ち、診療を行うことの出来る専門のセンターは必要不可欠であるため、日本初の大学病院における「足の疾患センター」を設立しました。各診療科の足病の専門知識を共有し、先端技術を駆使してフットケアから難治性疾患の治療まで最先端の医療の道を切り開き、最適な治療を提供します。

小児医療センター及び周産期センター開設

令和元年10月、小児及び周産期医療の充実を図るため、母子医育支援センターがリニューアルされ、小児医療センター及び周産期センターに分かれて開設しました。小児医療センターは、小児の病気を周産期センターや各診療科が連携し、知識や技術、経験を集結して治療に当たる都内有数の小児のための医療センターであり、小児全域の疾患を診療することが出来ます。周産期センターでは、妊娠、出産から出生を経て妊婦・胎児が母親・新生児に至る大切な過程において生じる問題に対し、安全に、最善の治療を提供し、治療の後の支援をすることを目標として、全てのご家族の願いである「母子ともに健康」を叶えるためにサポートします。

院内救急車の導入

令和元年9月3日より、救急プライマリケアセンター受診、近隣医療機関（連携先）からの救急患者の搬送や入院患者を安全かつ速やかに他附属病院・関連病院へ転院搬送又はご自宅への搬送し、更には災害拠点病院としての使命である大規模災害時の活用を目的に院内救急車を導入しました。

【静岡病院】

増改築計画

令和2年3月末時点での増改築計画の進捗率は、H棟I期工事の20.1%、増改築計画全体の11.3%に到達しました。H棟I期工事は基礎杭、山留、根切り工事が完了し、基礎躯体工事に着手しています。

シャント室運用開始

令和元年11月に新たにC棟1階にシャント室を開設し、手術室No.8にて実施していた内シャント手術を全て移行しました。手術室の効率的な運用につながり、手術件数が増加しました。

採血室ブース増設

外来採血待ち時間の短縮、検査結果報告の迅速化を図り、採血混雑時に臨時採血ブースを2か所増設する運用に改めました。

地域医療支援病院の認定

令和2年1月7日に静岡県より地域医療支援病院に承認されました。近隣連携機関として131施設、194人の医師及び歯科医師が登録され連携強化しています。より一層地域と連携を図り地域医療体制を強化することとなりました。

特定行為研修指定研修機関の承認

令和2年2月26日に厚生労働省より指定研修機関として承認を受けました。救急領域、皮膚・排泄ケア領域に必要な5区分11行為について、特定行為ができる看護師を養成していきます。

【浦安病院】

内視鏡センター新設

平成31年4月1日より内視鏡センターを開設しました。従来は内科1外来に内視鏡室が設置されていましたが、3号館増築を機に、3号館3階消化器内科外来に隣接するスペースに機能を集約し、より専門的な検査・治療を提供していきます。

入退院療養支援室の新設

平成31年4月1日より患者の入院前から退院後までのサポート体制の充実を目的として、「医療サービス支援センター」内に、新たに入退院療養支援室を設置しました。多職種と連携し、患者、家族、地域の方々の相談窓口として、安心して療育生活を送れるよう支援します。

非血縁者間骨髄採取施設の認定

平成30年11月21日に公益財団法人日本骨髄バンクの施設訪問を受け、令和元年5月31日付けで非血縁者間骨髄採取施設に認定されました。

病院機能評価 3rdG:Ver2.0 の受審・認定

令和元年6月18日～19日に公益財団法人日本医療機能評価機構による訪問審査を受審しました。その結果、9月6日付けで認定書が交付され、継続認定となりました。

3 検出器型ガンマカメラ導入

令和2年1月より、3検出器型ガンマカメラを新規導入し、2検出器型ガンマカメラ1台と合わせて2台で診療を行っています。3検出器型ガンマカメラは、心臓検査や脳血流検査などSPECT検査を得意とし、初期の認知症など、CT検査やMRI検査での形体検査ではわからない血流の低下を調べるのが可能となりました。

CFT 構造賞受賞

平成29年5月に竣工した3号館が、一般社団法人新都市ハウジング協会により、2019年度CFT構造賞を受賞しました。この賞は、CFT構造（コンクリート充填鋼管構造）の普及を目的として設立され、構造設計、耐火設計及び施工で優れた作品に贈られます。地域の人たちが安心して生活できる環境の構築に役立つことをコンセプトとして建築された3号館が、第三者機関からも高い評価を得ました。

【順天堂越谷病院】**医師の派遣**

平成27年度より継続して越谷市精神保健専門相談事業に参加し、令和元年度は精神科医師5名を派遣しました。また、平成30年度より開始された越谷市自殺対策連絡協議会の運営に協力し、協議会委員として精神科医を派遣しました。

精度保証施設の認証

令和元年度で精度保証の認証有効期限が終了するため、過去2年分の第三者による精度管理チェックの受審結果を日本臨床衛生検査技師会へ提出し更新作業を行ったところ、精度保証施設として2年間の継続が認められました。

越谷市医師会との連絡協議会

令和元年12月4日、越谷市内において越谷市医師会との連絡協議会を行い、当院の現状・将来計画及び病診連携の推進について協議しました。当日は、医師会より会長他5名、当院からも院長他5名が出席しました。

広報活動の強化

Facebookアカウントを新設し、市民公開講座の予定や当院の取り組みについて定期的にお知らせしています。また、病院紹介用の3つ折りパンフレットを新たに作成・配付し、連携先病院に活用して頂いています。

【順天堂東京江東高齢者医療センター】**3TMRI 装置更新**

3TMRI装置は、泌尿器科領域、婦人科領域、肝臓などの体幹部での鮮明な拡散強調画像が得られ、頭部においても3D撮像が容易となり、拡散テンソル像の撮像も可能となります。また脳神経内科、メンタルクリニックにおいても有効に活用できます。

内視鏡情報管理システム更新

日本消化器内視鏡学会の専門医資格取得のための学会統一マスターに基づくレポート作成及び実績の提出が必須化（JEDプロジェクト）されるためにシステムを更新します。更新機器は、内視鏡装置との互換性が高く、画像の画質も鮮明で患者情報の表示機能が使用でき

業務効率を図ることができます。

注射薬自動払出システム更新

開院以来 17 年以上使用し、修理部品の供給ができなくなってきたことに加え、医療安全及び業務効率化を図るため、注射薬自動払出システムを導入しました。

【練馬病院】

新外来棟のオープン

平成 30 年 5 月より着工した新 3 号館（外来棟）の工事が終了し、令和元年 12 月 24 日に引き渡しを受けました。同日に法人役員、練馬区長をはじめ議員、行政の方々等、多くの方をお招きし、神事及び竣工式を執り行いました。1 月 3 日には多職種による外来シミュレーションを行い、1 月 4 日より新外来棟での診療を開始しました。新外来棟オープンに際し、来院患者の混乱を避けるため、各部署よりスタッフを案内係として各階フロアに配置し、声掛け等を行い、大きな混乱なく順調に新外来への移行が行われました。

脳神経・脳卒中センターの設立

地域の脳卒中患者の救命、及びケアの向上を図るため、脳神経内科、脳神経外科の 2 診療科によるセンターを設立しました。

小児・AYA 世代ボーンヘルスケアセンター

15～30 歳前後の AYA 世代を対象に、整形外科、小児科、産科婦人科、栄養科、リハビリテーション科のスタッフチームによるセンターを設立しました。高齢者になってから発症する疾病の危険因子を若年層から継続的に未病対策を行うことにより、その発症を防ぐことを目的にしています。

歯科の新設

地域歯科クリニックと協働し、患者の疾病に対し総合的な治療にあたることを目的に歯科を新設しました。周術期口腔ケアを中心に NST 回診等、週 1 回午後外来を行っています。

ダビンチ装置導入

令和 2 年 3 月より泌尿器科の領域にて、ダビンチ装置が本格稼働を開始しました。今後は産婦人科、外科、呼吸器外科等でも稼働予定です。

第 100 回記念大会医療連携フォーラムの開催

令和 2 年 1 月 30 日に心臓血管外科学天野篤教授による特別講演を開催しました。地域のクリニックの医師等、院外の方が 129 名、当院スタッフ 75 名、合計 204 名と多くの方にご参加いただきました。

18. 国際交流活動

【大学交流協定について】

新たに、寧夏回族自治区人民病院、北京大学国際医院、国立保健研究所、ヤンゴン第一医科大学、中国医薬大学、オールボー大学、ウズベキスタン保健省と大学交流協定を結び、国際交流協定校は27カ国／地域、68機関となりました。

大学交流協定校一覧

アジア	北米
中国 <ul style="list-style-type: none"> 北京体育大学 中日友好医院 中国医科大学 大連理工大學 復旦大学 ハルビン医科大学 華中科技大学 蘭州大学 寧夏回族自治区人民病院 寧夏医科大学 北京大学 北京大学国際医院 北京大学人民醫院 四川大學 天津医科大学 香港大学 	アメリカ <ul style="list-style-type: none"> ブリガム・アンド・ウィメンズ病院 スタンフォード大学 ハワイ大学 ミネソタ大学 ニューメキシコ大学 MDアンダーソンがんセンター
ミャンマー <ul style="list-style-type: none"> 国立保健研究所 ヤンゴン第一医科大学 	ハンガリー <ul style="list-style-type: none"> ゼメルバイス大学
シンガポール <ul style="list-style-type: none"> シンガポール国立大学 	ポーランド <ul style="list-style-type: none"> ポズナン医科大学
台湾 <ul style="list-style-type: none"> 中国医薬大学 高雄医学大学 国立台湾大学 台北医学大学 	ロシア連邦 <ul style="list-style-type: none"> カザン連邦大学
タイ <ul style="list-style-type: none"> チェンマイ大学 チュラロンコン大学 カセサート大学 メーファールン大学 マヒドン大学 スラナリー工科大学 タマサート大学 	中南米
インドネシア <ul style="list-style-type: none"> アイルランガ大学 ガジャ・マダ大学 パジャジャラン大学 インドネシア大学 	ブラジル <ul style="list-style-type: none"> ベルナンブコ連邦大学
韓国 <ul style="list-style-type: none"> 漢陽大学 仁済大学 韓国体育大学 蔚山科学技術大学 	欧州
ベトナム <ul style="list-style-type: none"> 108陸軍中央病院 ベトナム軍医大学 	ベルギー <ul style="list-style-type: none"> ブリュッセル自由大学
大洋州	デンマーク <ul style="list-style-type: none"> オールボー大学
オーストラリア <ul style="list-style-type: none"> 西シドニー大学 	フィンランド <ul style="list-style-type: none"> ユヴァスキュラ応用科学大学
ニュージーランド <ul style="list-style-type: none"> オタゴ大学 	フランス <ul style="list-style-type: none"> 脳脊髄研究所 ストラスブール大学
	ドイツ <ul style="list-style-type: none"> シャリテ医科大学 ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン
マレーシア <ul style="list-style-type: none"> マラヤ大学 	イギリス <ul style="list-style-type: none"> デモントフォート大学 ロンドン大学聖バーツ病院
	ウズベキスタン <ul style="list-style-type: none"> ウズベキスタン保健省
	中東
	バーレーン <ul style="list-style-type: none"> アラビアンガルフ大学
	イラン <ul style="list-style-type: none"> テヘラン医科大学
	トルコ <ul style="list-style-type: none"> アジュバーテム大学

【学術交流について】

○ 中国・北京大学国際医院一行が順天堂大学を表敬訪問

平成31年年4月19日、中国・北京大学国際医院 陳仲強 (CHEN Zhongqiang) 院長を始め、俞紅霞 (YU Hongxia) 行政院長、梁軍 (LIANG Jun) 副院長など13名が順天堂大学に来訪されました。北京大学とは2007年に協定を締結し、共同シンポジウムの開催、医師・大学院生・学部生と様々なレベルでの学術交流が行われています。冒頭、小川秀興理事長が歓迎の意を表し、陳仲強院長から感謝の意と北京大学国際医院は創立5年目を迎え、今後の更なる交流を期待する旨ご挨拶がありました。次に国際診療部 内藤俊夫教授から順天堂の概要及び国際診療部についての紹介があり、それを受けての視察では参加者から多くの質問が寄せられていました。視察後も多岐の分野においての意見交換がなされました。



北京大学国際医院陳仲強院長(中央左)と順天堂大学小川秀興理事長(中央右)

○ 順天堂創立 180 周年記念・看護教育 120 周年記念 「日中看護国際 SYMPOSIUM ～未来(あす)に連(つな)ぐ日中看護交流～」を開催



令和元年 6 月 22 日、順天堂大学 A 棟講堂において、順天堂創立 180 周年、看護教育 120 周年『日中看護国際 SYMPOSIUM～未来に連(つな)ぐ日中看護交流～』を開催しました。このシンポジウムの趣旨は「日中両国の看護の歴史を学び、看護の教育、研究を通し看護の質向上と、より良い患者支援を目指す」です。中国からはご講演頂いた 4 名の来賓者の他、北京大学人民医院、中国医科大学、四川大学華西医学院、中日友好医院、首都医科大学附属兒童医院の 5 施設から教員や看護師 17 名に参加頂きました。また医療看護学部、保健看護学部、大学院医療看護学研究科の教員・大学院生及び順天堂 6 附属病院の看護師 427 名が出席し、合計 448 名が参加しました。式典及びシンポジウムにおいては中国語が堪能な本学教職員が協力のもと、A 棟講堂の同時通訳ブース内で通訳を実施しました。

○ 2019 年順天堂大学・中国医科大学共同学術講演会

令和元年 10 月 18 日、陳洪鐸 (CHEN Hongduo) 中国工程院院士・中国医科大学終身教授をお招きし、名誉客員教授授与式及び共同学術講演会を順天堂大学センチュリータワー南 12 階にて開催しました。本学からは小川秀興理事長、新井一学長、呼吸器内科学高橋和久教授 (順天堂医院長)、呼吸器外科学鈴木健司教授、国際教養学部ニヨンサバ フランソワ教授が出席し、中国医科大学からは陳院士のほか、中国医科大学附属第一医院血液学の翟明 (ZHAI Ming) 教授、呼吸器内科学の康健 (KANG Jian) 教授、呼吸器外科学の許順 (XU Shun) 教授が出席されました。



陳洪鐸中国工程院院士に対し名誉客員教授の称号を授与しました

○ 中国・北京体育大学客員教授授与・スポーツロジ研究会

令和元年10月24日、北京体育大学王華偉 (Wang Huazhuo) 教育学院院長など4名をさくらキャンパスにお招きし、胡揚 (HU Yang) 副学長の客員教授授与式及びスポーツロジ研究会を開催いたしました。スポーツ健康科学部と北京体育大学は平成20年に学術交流協定を締結しており、これまでも教員や研究者などの学術交流が行われておりました。当日は、王先生が中国のスポーツ史、包大鵬 (Bao Dapeng) 運動人体科学院博士が中国の2020東京オリンピックに向けた動きについて講義を行いました。両校は、今後も大学院生や学部生の交流を活性化させ、学術交流協定が実りある事業となるよう最善の努力をすることを確認しました。



中国・北京体育大学一行とさくらキャンパスにて

○ 第4回順天堂大学・仁済大学共同シンポジウム

令和元年11月21日、CHOI Seok-Jin 仁済大学医学部長など5名をお招きし、順天堂大学A棟地下1階コラボスペースにて第4回順天堂大学・仁済大学共同シンポジウムを開催いたしました。順天堂大学と仁済大学は平成27年11月に学術交流協定を締結し、それ以降、教員・学生の相互交流を進めてきました。平成28年11月に第1回仁済大学・順天堂大学共同シンポジウムを韓国・釜山広域市にある仁済大学海雲台病院で行い、今回は4回目の共同シンポジウムの開催となります。当日は、糖尿病学と心臓病学をテーマに双方の研究者が講演を行いました。



共同シンポジウム開催後、本郷・お茶の水キャンパスA棟コラボスペースにて

○ 駐日中国大使館に医療義援物資の贈呈

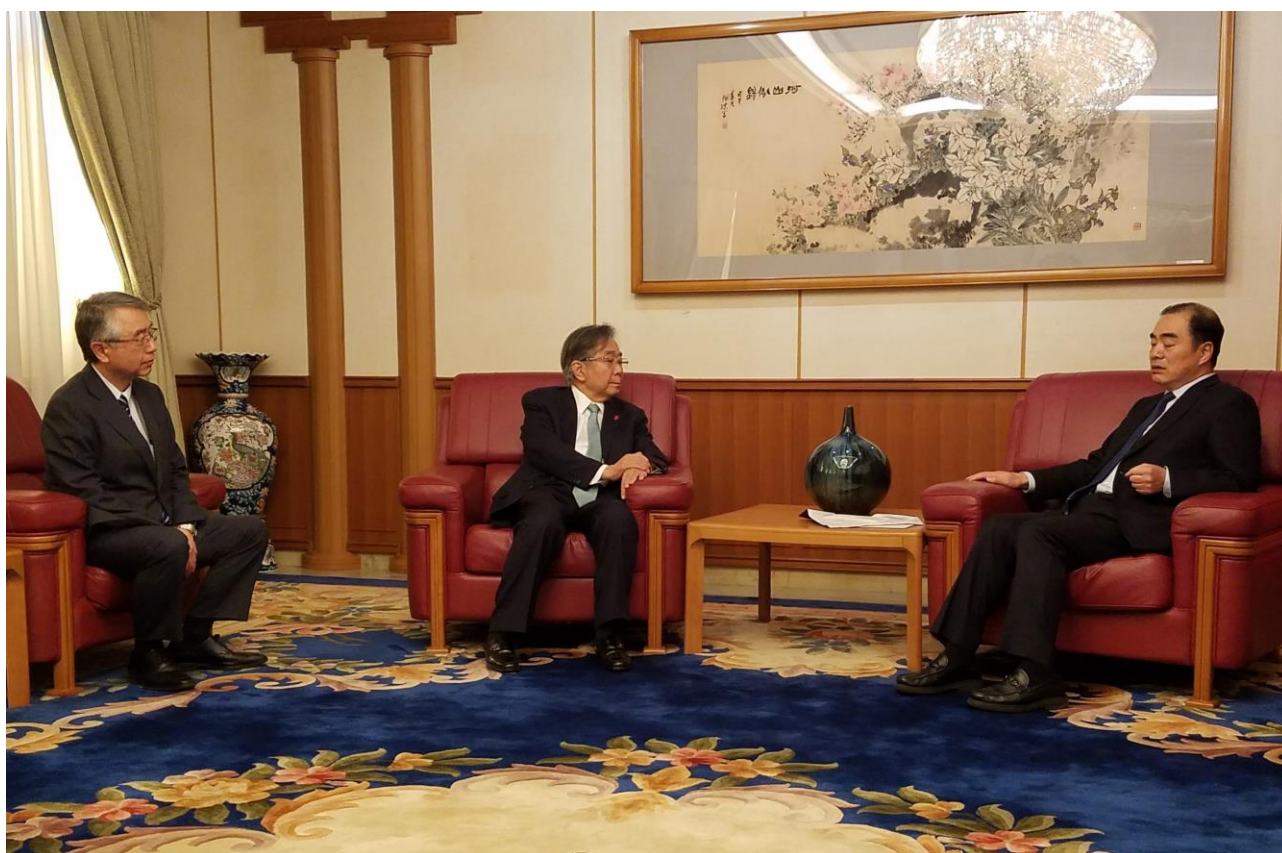
令和2年2月12日、中国を中心に感染拡大が懸念されている新型コロナウイルス感染症に関連して、本学及び日中医学協会からの医療義援物資の目録が、駐日中国大使館にて小川秀興理事長（学校法人順天堂理事長、及び公益財団法人日中医学協会理事長）より孔鉉佑（KONG Xuanyou）駐日大使へ渡されました。

小川秀興理事長より、本学は数多くの中国の大学・医療機関（北京大学、中国医科大学、四川大学、中山大学、中日友好医院など）と国際交流協定を締結しており、それに基づく人的交流も盛んに行われるなど長年に亘り友好的・協力的な関係を築き上げてきたこと、それだけに今般のコロナウィルスの拡大について大変心配していること、そして一日も早く終息させるべく最前線で対応されている医療関係・政府関係の皆様には敬意を表すること、などが伝えられました。

孔鉉佑駐日大使からは、本学及び日中医学協会からの支援に対し心からの謝辞が述べられました。また中国国内においても徐々に終息に向かいつつある傾向が出始めていることが述べられました。

また終息後の落ち着いた時期に、日中両国の感染症分野の専門家による共同研究の進展、そしてその研究がアジアそして世界をリーディングする迄に発展することを期待されているとの所感が述べられました。最後に孔鉉佑駐日大使は来訪者一人一人と握手をされ、小川理事長らを玄関先まで見送って頂きました。

本学からは高橋和久順天堂医院長、梶原恭介秘書室課長、そして日中医学協会からも本田伸吾事務局長、岡田光子事務局次長が同席しました。



孔鉉佑（KONG Xuanyou）駐日中国大使(右)に医療義援物資の目録をお渡ししました

【留学生の研修・交流活動について】

留学生などの受入は、長期外国人留学生（在留資格：留学）が20カ国／地域、109名で、外国人短期研修生が37カ国／地域、470名でした。留学生同士の交流を図るとともに、日本人学生や教職員との交流も積極的に推進しています。

○ 外国人留学生【在留資格：留学】 2019年4月1日から2020年3月31日まで

国／地域名	人数	国／地域名	人数	国／地域名	人数
中国	75名	韓国	2名	ウズベキスタン	1名
インドネシア	7	モンゴル	1	カザフスタン	1
台湾	5	インド	1	イタリア	1
ベトナム	2	タイ	1	フランス	1
ミャンマー	2	マレーシア	1	ブラジル	1
バングラデシュ	2	イラン	1	アメリカ	1
トルコ	2	パキスタン	1	合計：20カ国／地域	109名

※学部生、大学院生（修士・博士）、外国人研究生

○ 外国人短期研修生 2019年4月1日から2020年3月31日まで

・国／地域別受入数

国／地域名	人数	国／地域名	人数	国／地域名	人数
中国	62名	フィンランド	8名	香港	2名
シンガポール	48	カンボジア	7	アルゼンチン	1
台湾	43	ニュージーランド	7	アルメニア	1
イタリア	41	メキシコ	6	エジプト	1
イギリス	38	ベトナム	6	カメルーン	1
タイ	36	インド	5	ネパール	1
ドイツ	20	オーストリア	4	パキスタン	1
オーストラリア	15	ブラジル	3	フランス	1
韓国	15	タンザニア	3	ベルギー	1
フィリピン	13	アイルランド	2	レバノン	1
マレーシア	11	コロンビア	2	南アフリカ	1
アメリカ	11	トルコ	2	その他	39
インドネシア	9	ミャンマー	2	合計：37カ国／地域	470名

※その他は日本国籍保持者で、国・地域の合計数（37）には含まない

・学部別受入数

学部	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
医学部	53	66	54	89	60	64	28	46	18	42	32	10	562
スポーツ健康科学	9	60			3	7	12	8	5	17			121
医療看護学部			9										9
保健看護学部													
国際教養学部		14	14						11				39
保健医療学部										2	2		4
計	62	140	77	89	63	71	40	54	34	61	34	10	735

※延べ人数を各月毎に算出（実人数は470名）

19. 文部科学省等採択事業の概要**科学研究費助成事業**

令和元年度文部科学省「科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金）」（同省 11 月公表）の新規採択率は 29.3%、採択件数は 528 件（継続含む）で私立大学 603 校中、採択件数・配分額ともに第 5 位となりました。また新学術領域研究で器官・細胞生理学の小松雅明教授が『マルチモードオートファジー：多彩な経路と選択性が織り成す自己分解系の理解』という新たな領域を形成し、研究代表者として採択されました。当該分野の研究の発展をリードし、更には国際研究拠点として国内外の研究者との交流、情報収集及び情報発信を行っていきます。

私立大学研究ブランディング事業

平成 28 年度及び平成 29 年度に採択された文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」の事業を継続して実施しています。順天堂ブランドの情報発信としてプレスリリースを積極的にを行い、特別番組「スポーツサイエンスが健康を変える！～人生 100 年時代の新常識～」の企画・制作を行いました。番組は令和元年 11 月 17 日に BS テレビ東京で放映され、日経ビジネス誌による番組宣伝・特集記事のタイアップ企画を実施したほか、動画は各種イベント・高校での DVD 配布、オープンキャンパス、病院待合室での放映などに二次利用されました。また同時に文書・広報課との協力で制作した大学プロモーションビデオは、同番組と一致したコンセプトを打ち出し、Times Higher Education 社の SDGs ランキング HP にアップロードされたほか、テレビ CM としても活用されました。

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）

平成 27 年度に採択された文部科学省「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」が 5 年目を迎えました。東京医科歯科大学、株式会社ニッピと連携して行う本事業では、女性研究者の活躍推進や研究環境のダイバーシティ実現に取り組んでおり、合同シンポジウムや各種セミナー開催しました。事業計画 6 年のうち、3 年間の補助金交付期間を終えましたが、連携機関との共同実施に関する協定書に基づき令和 2 年度まで女性研究者活躍促進事業を実施します。

センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム事業

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム事業『運動のカルチャー化により活力ある未来をつくるアクティブ・フォー・オール拠点』」が立命館大学との共同拠点として 5 年目を迎え、本学拠点の取組としてロコモ発症・進展予防のためのプログラム開発・技術開発に加え、ロコモ予防運動プログラム及び女性医師等を活用したヘルスケアサポートの実証実験をプログラム参画機関に加えて千葉県地域（成田市、富里市等）や協力企業（大丸松坂屋百貨店、高砂熱学工業）とを行い、成果を各種セミナー、展示会や HP で発表しました。今後も参画企業と連携し製品化などの社会実装に向け更なる研究開発・社会実験を進めます。

基礎研究医養成活性化プログラム

平成 29 年度に採択されました文部科学省「基礎研究医養成活性化プログラム」が 3 年目を迎えました。東京大学、福島県立医科大学と連携し、「福島・関東 病理・法医連携プログラム『つなぐ』」として 3 大学の病理学、法医学分野の連携により、人材育成を目指す本プログラムに本学の大学院生 2 名が参加しています。

令和元年度より連携大学での 2 カ月ずつの交換学生交流や会員専用動画の配信などが開始され、リアルネットワークと ICT を活用したバーチャルネットワークで 3 大学をつなぐ、充実した取り組みとなりました。これまでの取り組みに対して今年度「A」の中間評価を得ています。

令和 2 年度には、新たに本学の大学院生 1 名が参加予定となっており、今後も更なる連携強化を図るとともに、キャリアパスの構築までを見据えた体系的な教育内容の強化・充実化を図っていきます。

20. 教育研究施設・設備の充実

【法人・大学】

箱根・芦ノ湖セミナーハウス

令和元年11月に箱根・芦ノ湖セミナーハウスが竣工しました。箱根駅伝の往路ゴール、復路スタート地点に近く、美しい杉並木の景観を壊さないように自然との調和を大切にデザインされており、客室からは富士山、芦ノ湖、箱根神社等の景色を眺めることができます。



【本郷・お茶の水キャンパス】

本郷旧元町小学校跡地計画

本学が「旧元町小学校の整備と元町公園との一体的活用事業」の事業者を選定され、文京区と基本協定締結に向け作業を進めています。

解剖実習室

A棟（新研究棟）に新設された解剖実習室は、平成31年4月より医学部での人体解剖実習、脳解剖実習等での本格的な使用を開始するとともに、解剖実習室を活用したサージカルトレーニングセンターを設置しました。これまで医師の手術手技のトレーニングは、手術を通して、On the Job Trainingで行われてきましたが、手術の高度化・複雑化が進んでいることから、安全な手術を実施するために、事前に研修を積む必要が生じています。その対策として、ご遺体によるサージカルトレーニング（Cadaver Surgical Training (CST)）が有効な教育手法として推奨されています。

第3教育棟建設工事

国際教養学部が利用する第3教育棟が令和2年1月に竣工しました。可動間仕切りを多く採用した第3教育棟は、様々な授業形態にフレキシブルに対応できる講義棟となりました。バリアフリー対応の大教室2室（各252名、270名収容）の他、84名収容の中教室4室（連結により168名収容・2室）、30名収容の演習室8室（連結により60名収容・4室）が整備されました。

保健医療学部理学療法学科実習室

御茶の水センタービルの第Ⅱ期工事が、令和2年3月に整備完了し、保健医療学部の本部となる校舎が完成しました。60台の治療ベッドを備えた都内最大級の実習室のほか、最新の実習機器を備えた実習室を完備しており、充実した実習環境が整備されました。

保健医療学部診療放射線学科実習棟

診療放射線学科実習棟が令和元年12月に竣工しました。実習棟には、MRI室、超音波画像実習室、CT室等数多くの新しい装置が設置されており、診療放射線技師が臨床で取り扱う領域をカバーした実技訓練・学修を行える環境が整備されました。

【さくらキャンパス】**講義棟・学生寮新築工事**

令和3年度に予定している学部の定員増対応のため、新たな講義棟、学生寮の建設を進めています。(竣工予定：講義棟/令和3年2月26日、学生寮/令和3年1月29日)

【浦安キャンパス】**教室AV装置の更新**

令和2年3月に22教室及び32教室AV装置の更新を行いました。また13教室の電子黒板を70インチから75インチのAndroid OS搭載の電子黒板に更新しました。既存70インチの電子黒板は、今まで設置されていなかった32教室に移設し、板書等を大型スクリーンに映せるようにしました。

【三島キャンパス】**クラウド型教育支援システム導入**

クラウド型教育支援システム「manaba」を導入しました。本システムの利用により、教員はWEBページから学生向けに小テスト、レポート、アンケートの実施が可能となり、双方向のやりとりが活性化しました。講義資料の掲示及び連絡事項の配信を実施することにより、レポート提出等事務作業の効率化が期待されます。

また授業点検評価をマークシート方式からWeb入力システム「i-compass」に変更し、出欠確認及び点検評価の集計業務が円滑に進められるようになりました。

自動証明書発行機設置

学内で発行する各種証明書について自動発行機を導入しました。事務室での受付業務を的確に処理し、必要な証明書が即時発行できるようになりました。

21. 大学キャンパス・ホスピタル再編事業計画について

順天堂創立 175 周年記念事業の一環として取り組んでいる大学キャンパス・ホスピタル再編事業計画の概要と進捗状況は以下のとおりです。

(1) 本郷・お茶の水キャンパス

① 1 号館外来・病棟改修工事

病棟改修工事として、小児医療センター、周産期センターの改修工事が令和元年 9 月に完了して、増床 (31 床) に関わる一連の改修工事は終了しました。



病棟廊下



プレイルーム



病室 (個室)



病室 (4 床室)

② 新研究棟建設

A 棟 (新研究棟) は、9 号館解体が完了して、明治期に建設された順天堂医院の歴史ファサードを再現するⅡ期工事 (令和 2 年 9 月竣工予定) に着手しました。



外観 (現状：航空写真)



歴史ファサード (完成パース)

③ 保健医療学部開設に関わる増改築

御茶の水センタービルの第Ⅱ期工事が、令和2年3月に整備完了し、保健医療学部の本部となる校舎が完成しました。また、診療放射線学科実習棟も令和元年12月に竣工し、令和2年3月に整備完了しました。



御茶の水センタービル 外観



御茶の水センタービル
8階実習室



御茶の水センタービル
4階コモンスペース



診療放射線学科実習棟 外観



診療放射線学科実習棟
5階実習室



診療放射線学科実習棟
7階画像情報処理実習室

④ 第3教育棟建設

主に国際教養学部が利用予定の第3教育棟が令和2年1月に竣工しました。



第3教育棟 外観



第3教育棟 3階 階段教室

⑤ 土地・建物不動産取得

キャンパスに近接する複数のビルをサテライトとして購入し活用を図ります。

(2) 静岡病院

救急診療部門等を収容する整備計画を進め、病院機能の拡充を図ります。



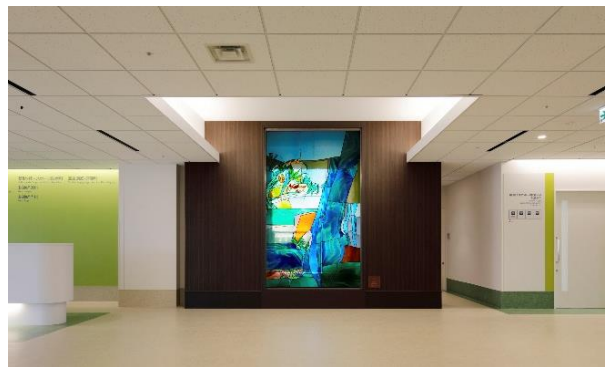
外観 (イメージ)

(3) 練馬病院

病院の増床、病院機能の拡充等のための病院整備計画を進めており、令和元年12月に外来棟が竣工しました。引き続き、1号館外来・病棟に着手しました。



外観 (イメージ)



外来待合 (イメージ)

22. スポーツ分野での活躍

○ 世界選手権大会

2019年10月に開催された世界体操競技選手権大会に萱和磨選手（大学院博士前期1年：写真右から2番目）、谷川翔選手（スポ科3年：写真左端）、卒業生の谷川航選手（2019年卒業：写真左から2番目）が出場し、男子団体総合で銅メダルを獲得しました。また、萱和磨選手は同大会の種目別平行棒においても銅メダルを獲得しました。また、8月の世界柔道選手権東京大会に松村慎選手（健康2年）、9月の世界陸上競技選手権大会（カタール・ドーハ）に泉谷駿介選手（スポ科2年）、11月の世界パラ陸上競技選手権大会（ドバイ）に山崎晃裕選手（さくら学生課）がそれぞれ出場し、世界の大舞台で活躍しました。



写真提供：PHOTO KISHIMOTO

○ ユニバーシアード競技大会（ナポリ）

2019年7月にユニバーシアード競技大会がイタリア・ナポリで開催され、本学からは、体操競技、陸上競技、バレーボール、サッカーの4競技に選手として計6名の学生・大学院生および1名の卒業生が出場し、出場全4競技において計9個のメダル（金4、銀1、銅4）を獲得するなど多くの活躍を見せました。本学の貢献により、日本チームは各国・地域別のメダル獲得数で1位となりました。



男子サッカー競技 金メダル

旗手怜央(スポ科4年)

写真提供：PHOTO KISHIMOTO

○ パラアスリートの活躍

2019年12月の「2019 IBSA ゴールボール アジアパシフィック選手権大会 in 千葉」で、銅メダル獲得に貢献した佐野優人選手（健康1年）が、東京パラリンピックのゴールボール男子日本代表に内定しました。日本パラ陸上競技選手権大会、ジャパンパラ陸上競技大会で山崎晃裕選手（さくら学生課）が、やり投げでそれぞれ優勝、全日本パラパワーリフティング65kg級で奥山一輝選手（スポ科4年）が日本記録更新、宇城元選手（さくら会計課）が80kg級で優勝しました。



佐野優人(健康1年)

○ 部活動の全国大会優勝

陸上競技部男子、スカッシュ部男子が全日本インカレで優勝しました。また社会人を含めた全国大会における個人種目にて、NHK杯体操及び全日本体操競技個人総合選手権大会において谷川翔選手（スポ科3年）、全日本体操種目別選手権において大久保圭太郎選手（スポ科2年）の2選手が優勝しました。



日本インカレ男子陸上 総合優勝

23. 公開講座

【法人・大学】

年月日	講座名・テーマ	参加者数(名)	学外者(内数)
1. 5. 11	第5回医療体験セミナー・キッズセミナー (7月27日第6回、12月14日第7回、2月8日第8回開催)	計99	計99
18	第348回順天堂医学会学術集会「医学研究のUP-TO-DATE」	50	11
6. 1	順天堂大学第44回都民公開講座 「糖尿病腎臓病(DKD)の概念と重症化予防に向けた治療のポイント」	180	15
22	順天堂大学創立180周年記念・順天堂大学看護教育120周年記念 日中看護国際シンポジウム～未来につなぐ日中看護交流～	448	21
7. 25	第5回高校生セミナー「顕微鏡の世界-正常細胞とがん細胞の違い-」	82	82
9. 12	第349回順天堂医学会学術集会「ゲノム情報を利用したがん診療」	63	16
12. 8	順天堂大学と東京藝術大学 合同・公開シンポジウム 「医療と芸術の融合をめざして」	489	274
2. 1. 25	文京区体力向上事業健康教室 「子どものからだと心をつくる「食育」～骨を丈夫に育てよう！～」	15	15
2. 15	順天堂大学第45回都民公開講座 「アトピー性皮膚炎：最新の治験と治療法」	140	15

【順天堂医院】

年月日	講座名・テーマ	参加者数(名)	学外者(内数)
31. 4. 20	第19回アピアランス講習会(6月15日第20回、8月17日第21回、 10月19日第22回、12月21日第23回、2月15日第24回開催)	計45	計45
1. 5. 18	第23回市民公開講座(がん治療センター) 「食道がんと食道胃接合部がんの治療」「がんゲノム医療とは？」	175	164
25	第68回がん治療センターミニレクチャー 「最近の乳がん治療について」 「婦人科悪性腫瘍治療と合併症～リンパ浮腫との上手な付き合い方～」	18	18
6. 2	難病医療講演会(東京都難病相談・支援センター) 「肺動脈性肺高血圧症」	14	—
7. 20	第69回がん治療センターミニレクチャー 「がんの運動器障害～がんロコモと骨転移～」 「がんの治療・療養中に必要なリハビリテーション」	10	10
9. 21	第70回がん治療センターミニレクチャー 「がんゲノム医療とは?」「エビデンスに基づいた緩和的放射線治療」	19	19
10. 6	難病医療講演会(東京都難病相談・支援センター) 「特発性多中心性キャッスルマン病」	61	—

年月日	講座名・テーマ	参加者数(名)	学外者(内数)
11.16	第71回がん治療センターミニレクチャー 「低侵襲治療（主に胃がん）について」 「治療・療養生活を支える社会保障制度について」	10	10
12.1	難病医療講演会（東京都難病相談・支援センター） 「パーキンソン病」	176	—
7	第24回市民公開講座（がん治療センター） 「進化する膵臓がん治療～内視鏡治療から化学療法まで～」 「もしかして“遺伝性のがん”？～がん家系の診断と具体的な対策～」	200	187
2.1.18	第72回がん治療センターミニレクチャー 「大腸がんについて」「がんの痛みを和らげよう(薬物療法について)」	15	15

【静岡病院】

年月日	講座名・テーマ	参加者数(名)	学外者(内数)
31.4.24	第77回市民公開講座 「貧血のお話し～悪性疾患が隠れていることがあるので気をつけましょう～」	62	35
1.5.23	がん治療研修会 第一部「がん化学療法」、第二部「がん放射線療法」	22	9
6.17	第78回市民公開講座 「リウマチのお話し～リウマチと上手く付き合っていくために～」	57	42
7.18	第79回市民公開講座 「目の充血～目が赤くなった！危険？それとも？～」	60	46
26	第41回東部周産期研究会 「胎児骨系統疾患の診断・管理－FL短縮を認めたときの対応－」 「骨系統疾患の新生児管理」	47	25
30	がん治療研修会 第一部「がん緩和ケアの退院支援」 第二部「頭頸部の早期がんを見逃されやすいがん」	46	18
8.20	第80回市民公開講座 「防ごう脳卒中！急ごう脳卒中！～脳卒中の予防と最新治療～」	83	52
9.7	第81回市民公開講座 ※三島キャンパス合同開催 「パーキンソン病をいきいき生きる」 1)パーキンソン病の基礎から最新治療まで 2)ただ歩くだけじゃダメ!? パーキンソン病患者の運動・生活のコツを教えます	318	318
10.11	第82回市民公開講座 「急性の痛みと慢性の痛み～全く異なる2つの痛みを理解しましょう～」	39	20

年月日	講座名・テーマ	参加者数(名)	学外者(内数)
27	がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会	26	1
11.18	第83回市民公開講座 「心臓発作の対処法～未然に防ぐ対策、緊急時の対応～」	109	86
12.12	第42回東部周産期研究会 「妊娠中に問題となる感染症の取り扱い」 「新生児室で問題になる感染症の取り扱い」	51	32
16	がん患者の周術期口腔ケア研修会 「がん患者の口腔ケア～看護師が行う入院中のケア～」	45	12
17	第84回市民公開講座 「肝機能の数値が少し気になる方へ 検査結果の見方とよくある肝臓病－脂肪肝とアルコール」	75	46
2. 1.14	アレルギー疾患研修会 「皮膚のバリア機能と皮膚炎～皮膚のアレルギーって？～」	55	32
2.14	市民公開講座（静岡災害医学研究センター） 「へびに噛まれた時 ハチに刺された時 あなたはどうしますか？」	90	57
19	医療連携フォーラム 学術講演会 ①「オリンピック体制と爆傷について」 ②「地域の先生方とがん治療センター」	127	96

【浦安病院】

年月日	講座名・テーマ	参加者数(名)	学外者(内数)
1. 5.25	第89回市民公開講座 「心不全にならない、心不全に負けない最新知識」	35	35
31	あおべかサロン（7月20日、9月2日、1月20日開催） 「ピア・サポーターズサロンちば」他	計 26	計 26
6.29	第90回市民公開講座 「足腰の健康維持・増進のために必要なこと、やっておきたいこと」	42	42
26	女性ジュニアアスリートコンディショニングセミナー 「パフォーマンスがアップするコンディショニングのヒント」	15	15
28	第91回市民公開講座 「加齢に伴う眼疾患」	56	56
10.19	糖尿病教室（11月16日、12月21日、1月18日、2月15日） 「糖尿病とは…??」他	計 114	計 114
11.30	第92回市民公開講座 「認知症の最新事情」	89	89
12.27	ジュニア女子アスリートコンディショニングセミナー 「月経と体調管理・基礎体温の測り方・体重管理について」	18	18

年月日	講座名・テーマ	参加者数(名)	学外者(内数)
2. 1. 25	第 93 回市民公開講座 『緩和ケア』にできること	25	25

【順天堂越谷病院】

年月日	講座名・テーマ	参加者数(名)	学外者(内数)
31. 4. 27	第 69 回 (一財) 順天堂精神医学研究所・順天堂越谷病院共催 講演会 「認知症の診断と治療」	110	110
1. 7. 20	第 70 回 (一財) 順天堂精神医学研究所・順天堂越谷病院共催 講演会 「メンタルの病気についての考え方—統合失調症をめぐって—」	106	106
27	第 6 回 ガーヤ★健康茶論 「高齢者もうつ病になるの?」「うつ病を予防するコツ」	52	52
8. 24	第 1 回 膠原病・リウマチ教室 「膠原病・リウマチの検査」「関節リウマチとはどんな病気?」 「関節リウマチの日常生活の注意点」	71	71
9. 28	第 2 回 膠原病・リウマチ教室 「膠原病ってどんな病気?」「膠原病の合併症は?」 「膠原病の日常生活の注意点」	61	61
10. 5	脳神経内科市民公開講座 「教えて認知症 治療編」「教えてパーキンソン病 薬物治療編」	69	69
11. 16	第 71 回 (一財) 順天堂精神医学研究所・順天堂越谷病院共催 講演会 『ひきこもり・たてこもり』への家族支援	74	74
18	第 1 回パーキンソン病患者さんのためのダンス教室 (12月13日第2回、1月27日第3回、2月17日第4回開催)	計 82	計 82

【順天堂東京江東高齢者医療センター】

年月日	講座名・テーマ	参加者数(名)	学外者(内数)
31. 4. 27	第 1 回区民健康講座 「腸内フローラと健康について」	107	107
1. 5. 25	第 2 回区民健康講座 「脱臼しにくい人工股関節～股関節の痛みの完全と機能回復に～」	29	29
6. 22	第 3 回区民健康講座 「循環器専門医からのアドバイス 人生 100 年時代を健やかに迎えるには?～〇〇熱中症とは～」	44	44
7. 20	第 4 回区民健康講座 「そのしびれ、大丈夫?しびれの検査と治療」	178	178
9. 18	第 11 回医療連携フォーラム	133	84

年月日	講座名・テーマ	参加者数(名)	学外者(内数)
21	第5回区民健康講座 「認知症入門～認知症と生きるには～」	124	124
10.26	第6回区民健康講座 「望ましい人生を過ごすために知っておきたいこと～呼吸器疾患から考える人生会議～」	105	105
11.16	第7回区民健康講座 「肺がんについての話～打倒！肺がん～」	85	85
12.28	第8回区民健康講座 「冬に多い皮膚病～原因と対策～」	84	84

【練馬病院】

年月日	講座名・テーマ	参加者数(名)	学外者(内数)
31. 4.27	区民健康医学講座 「専門医が語るがん検診の表と裏」	102	—
1. 5.25	区民健康医学講座 「よくみる感染症について知ろう」	58	—
6.29	区民健康医学講座 「“治る 認知症”って何？-特発性正常圧水頭症-」	65	—
8.31	区民健康医学講座 「『足が喜ぶ。体も喜ぶ。』歩くと足がだるくなりませんか？足のお悩み循環器医が解決いたします！」	119	—
9.28	区民健康医学講座 ※練馬区との共催 「間違いだらけのクスリの飲み方」	78	—
11. 2	区民健康医学講座 ※練馬区との共催 「乳癌の診断と治療、正しく知ろう！乳がんのこと」	74	—
26	区民健康医学講座 ※練馬区との共催 「高齢者の肺癌外科治療」	79	—
30	区民健康医学講座 ※練馬区との共催 「耳鼻咽喉科領域の機能改善手術」	80	—
2. 1.25	区民健康医学講座 「白血病治療の現状」	57	—

【さくらキャンパス】

年月日	講座名・テーマ	参加者数(名)	学外者(内数)
1. 7. 30	酒々井町・順天堂大学連携事業 障害者スポーツを学ぼう！ ①「実技：ボッチャを体験しよう」	50	50
31	酒々井町・順天堂大学連携事業 障害者スポーツを学ぼう！ ②「実技：ゴールボールを体験しよう」	50	50
8. 6	酒々井町・順天堂大学連携事業 障害者スポーツを学ぼう！ ③「講義：障害者スポーツを学ぼう、実技：ボッチャを体験しよう」	50	50
7	酒々井町・順天堂大学連携事業 障害者スポーツを学ぼう！ ④「講義：スポーツを通して障害を学ぼう、実技：ゴールボールを体験しよう」	50	50
10. 20	印西市・酒々井町 親子スポーツ教室「パラスポーツ体験会」	49	49
27	SAKURA 未来プロジェクト「第1回スポーツムービー選手権」	250	250
11. 3	印西市・酒々井町 親子スポーツ教室「サッカー教室」	48	48
〃	オープンキャンパス公開講座 「異世代サッカー2019」	20	20
	「ロコモ予防のための運動と栄養」	127	127
	「ちゃれんじどフィットネスクラブ」	30	30
	「自体重を活用した筋力トレーニング」	92	92
	「スポーツとアンチ・ドーピング—スポーツの価値を護り育む—」	32	32
	「家族で楽しむスポーツクラス～ボールを使った健康教室～」	37	37
	「サッカーの試合をゲーム理論の立場から考えてみよう～スポーツ数理科学～」	29	29
	「伝わる英語の話し方～英語の Pronunciation Clinic 子音とリズム編～」	12	12
	「“記憶”の効率を上げる科学的なコツ」	21	21
	「“不安”や“怒り”を軽くするコツ」	21	21
	「視覚とスポーツの関係～勝つために大切な“目”～」	18	18
10	印西市・酒々井町 親子スポーツ教室「バレーボール教室」	43	43
17	印西市・酒々井町 親子スポーツ教室「陸上競技教室」	48	48
2. 1. 18	文京区体力向上事業健康教室 「子どもの体力とスポーツ環境の変化について」	9	9
2. 1	文京区体力向上事業健康教室 「運動やスポーツが上手くなるための脳と身体のしくみ」	20	20

【浦安キャンパス】

年月日	講座名・テーマ	参加者数(名)	学外者(内数)
1. 7. 31	第 46 回市民公開講座 「こころとからだの健康のために～マインドフルネスをやってみよう」	74	74
8. 21	第 47 回市民公開講座 「脳卒中の予防からリハビリテーション～生活の中でできること～」	77	77
9. 25	第 48 回市民公開講座 「The Heart of English Communication through Singing～歌って学ぶ！英語コミュニケーションの心～」	34	34
10. 16	第 49 回市民公開講座 「スキンケア～健やかな肌を保つために～」	44	44
11. 20	第 50 回市民公開講座 「なぜ肺炎予防が大事な？症状の早期発見と予防のポイント」	43	43
12. 9	第 10 回「地域医療セミナー」 「高齢者に起こりやすい“フレイル”について」	約 300	約 300
2. 2. 5	第 51 回市民公開講座 「健康情報についての上手い使い方」	45	45

【三島キャンパス】

年月日	講座名・テーマ	参加者数(名)	学外者(内数)
1. 7. 6	第 21 回公開講座「看護とスポーツ～いのちと健康を守るために～」 ※静岡病院及びスポーツ健康科学部合同開催 1) 小さいのちを育む～NICU でがんばる赤ちゃんからのメッセージ～ 2) ハイパーベンチレーション（過呼吸）～生理学的応答とパフォーマンスへの活用～	29	—
9. 1	第 22 回公開講座 「顧みられない熱帯病と戦う - 日本生まれの国際 NGO の活動 - 」	52	—
7	第 23 回公開講座「パーキンソン病をいきいき生きる」 ※静岡病院合同開催 1) パーキンソン病の基礎から最新治療まで 2) ただ歩くだけじゃダメ!? パーキンソン病患者の運動・生活のコツを教えます 令和元年度みしま教養セミナー「順天堂大学コース」 「ちょっと年を取ってからのイキイキした暮らし方」	318	—
10. 10	第 1 回 +10(プラステン)で脳も身体も健幸に	75	—
17	第 2 回 元気で過ごすための休息のとり方	56	—
25	第 3 回 生き生きとした話し方	41	—

年月日	講座名・テーマ	参加者数(名)	学外者(内数)
27	第24回公開講座 「喜楽力 楽しいだけで世界一！」	55	—
11.16	第25回公開講座 「『マタハラ』ってなに?-そろそろやめませんか…?こんなこと…。-」	20	—
2. 2.15	第26回公開講座 「ノルディックウォーキング教室」	20	—

【国際教養学部】

年月日	講座名・テーマ	参加者数(名)	学外者(内数)
1. 5.25	市民公開講座 順天堂健康塾 「愛と夢と勇気を育む健康なまちづくり」	70	11
10. 2	順天堂健康アカデミー2019「健康で幸せに生きるために」計5回	各 40	—
12. 9	「UNHCR WILL2LIVE Cinema パートナーズ」上映会	137	11
19	順天堂大学&シンガポール国立大学合同国際フォーラム 第4回「持続可能な高齢社会」	54	13

【保健医療学部】

年月日	講座名・テーマ	参加者数(名)	学外者(内数)
1. 7.20	文京ハイスクールアカデミア・理学療法士	5	—
11.23	市民公開講座 「健康長寿を達成するための脳卒中予防」	12	—

【男女共同参画推進室】

年月日	講座名・テーマ	参加者数(名)	学外者(内数)
1.10.15	平成27年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」合同シンポジウム（第5回） 「イクボスが創る医療界の多様性」 （東京医科歯科大学・株式会社ニッピバイオマトリックス研究所との共同開催）	154	140
11.30	第9回順天堂大学女性研究者研究活動支援シンポジウム 「チャンスを捉えてキャリアを拓く～研究、臨床を極めて“リーダーとしての道”を示す」 （東京医科歯科大学・株式会社ニッピバイオマトリックス研究所との共同開催）	78	15

24. 令和元年度事業の収支及び財務状況の概要

当期の事業収支及び財務状況について、その概況を報告します。なお金額は百万円未満を端数処理(四捨五入)して表記していますので、合計と一致しないことがあります。

(1) 資金収支計算書

(収入の部)

単位：百万円

科 目	補正後予算	決 算	差 異
学生納付金収入	8,808	8,841	△ 34
手数料収入	523	532	△ 9
寄付金収入	1,438	1,685	△ 247
補助金収入	6,682	6,828	△ 146
資産売却収入	10,000	7,197	2,803
付随事業・収益事業収入	3,639	4,502	△ 863
医療収入	151,283	152,493	△ 1,211
受取利息・配当金収入	122	166	△ 43
雑収入	2,246	2,439	△ 193
借入金等収入	600	610	△ 10
前受金収入	2,354	2,405	△ 51
その他の収入	27,139	27,160	△ 21
資金収入調整勘定	△ 28,533	△ 29,136	603
当年度資金収入合計	186,300	185,723	577
前年度繰越支払資金	29,815	29,815	0
収入の部合計	216,115	215,537	577

資金収入は、補正後予算(以下予算という)と比較し、約6億円下回りました。主な要因として、再編事業関連の工事や一部の設備投資で計画変更があったことにより、支払いに充てるため予定していた有価証券の取り崩しを調整したこと等があげられます。

(支出の部)

科 目	補正後予算	決 算	差 異
人件費支出	62,418	62,092	325
教育研究経費支出	25,216	25,524	△ 308
医療経費支出	65,207	65,291	△ 84
管理経費支出	4,787	4,568	220
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	730	720	10
施設関係支出	18,047	16,053	1,995
設備関係支出	7,077	5,326	1,751
資産運用支出	650	661	△ 11
その他の支出	12,175	12,182	△ 7
予備費	1,643	0	1,643
資金支出調整勘定	△ 10,615	△ 13,153	2,538
当年度資金支出合計	187,336	179,264	8,072
次年度繰越支払資金	28,779	36,274※2	△ 7,494
支出の部合計	216,115	215,537	577

資金支出は、予算と比較し約81億円下回りました。主な要因としては、当年度予定されていた再編事業関連工事や一部の設備投資で計画変更があったこと等があげられます。

当年度資金収支差額※1は約65億円のプラスとなり、次年度繰越支払資金※2は約363億円となりました。

当年度資金収支差額	△ 1,036	6,459 ※1	△ 7,494
-----------	---------	----------	---------

(2) 事業活動収支計算書

単位：百万円

		科 目	R01年度決算	H30年度決算	差 異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生納付金	8,841	8,125	717
		手数料	532	518	14
		寄付金	1,663	1,698	△ 35
		経常費等補助金	6,719	5,075	1,644
		付随事業収入・収益事業収入	4,502	3,633	868
		医療収入	152,493	146,808	5,685
		雑収入	2,532	2,385	147
		教育活動収入 計	177,283	168,242	9,040
	事業活動支出の部	人件費	63,108	60,266	2,842
		(退職給与引当金繰入額)	(2,846)	(2,728)	(118)
		教育研究経費	38,056	35,930	2,126
		(減価償却額)	(12,530)	(11,257)	(1,273)
		医療経費	65,300	60,368	4,932
		管理経費	5,194	5,222	△ 29
(減価償却額)		(634)	(684)	(△ 50)	
徴収不能額等		55	83	△ 28	
教育活動支出 計	171,713	161,869	9,844		
教育活動収支差額		5,569	6,373	△ 803	
教育活動外収支	収入業の活動	受取利息・配当金収入	166	167	△ 1
		その他の教育活動外収入	0	0	△ 0
		教育活動外収入 計	166	167	△ 2
	支事業の活動	借入金等利息	0	0	△ 0
		その他の教育活動外支出	0	0	△ 0
		教育活動外支出 計	0	0	△ 0
教育活動外収支差額		166	167	△ 1	
経常収支差額		5,735	6,540	△ 805	
特別収支	収入業の活動	資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	405	1,047	△ 642
		特別収入 計	405	1,047	△ 642
	支事業の活動	資産処分差額	798	29	769
		その他の特別支出	8	8	1
		特別支出 計	807	37	770
特別収支差額		△ 402	1,011	△ 1,412	
予備費		0	0	0	
基本金組入前当年度収支差額		5,333	7,550	△ 2,217	
基本金組入額合計		△ 14,067	△ 28,354	14,287	
当年度収支差額		△ 8,733	△ 20,803	12,070	
前年度繰越収支差額		△ 79,806	△ 59,002	△ 20,803	
基本金取崩額		0	0	0	
翌年度繰越収支差額		△ 88,539	△ 79,806	△ 8,733	
(参考)					
事業活動収入 計		177,853	169,456	8,396	
事業活動支出 計		172,520	161,906	10,614	

教育活動収入は、約1,773億円となり、前年度と比較すると約90億円増加しました。主な要因としては、附属病院において診療体制を充実させ高度な医療を提供したことにより、医療収入が増加したこと等があげられます。

教育活動支出は、約1,717億円となり、前年度と比較すると約98億円増加しました。主な要因は以下の通りです。

- ① 建替えや設備の新規取得に伴う減価償却費の増加。
- ② 高度先進医療の実施に伴う高額薬品費支出、診療材料費支出等による医療経費の増加。
- ③ 診療体制を更に充実させるため医療スタッフを増員したことによる人件費の増加。

経常的な収支を表す経常収支差額は、約57億円となり、前年度と比較すると支出の増加が収入の増加を上回ったため、約8億円減少しました。

基本金組入前当年度収支差額は約53億円となり、前年度と比較すると約22億円減少しました。

(3) 貸借対照表

(資産の部)

単位：百万円

科 目	R01年度決算	H30年度決算	増 減
固 定 資 産	231,464	221,512	9,952
有形固定資産	202,400	194,585	7,815
土地	57,797	56,885	912
建物	103,405	98,369	5,036
その他の有形固定資産	41,198	39,331	1,867
特定資産	12,233	11,963	270
その他の固定資産	16,831	14,964	1,868
流 動 資 産	79,842	82,370	△2,528
現金預金	36,274	29,815	6,459
その他の流動資産	43,568	52,555	△8,987
資 産 の 部 合 計	311,306	303,882	7,424

固定資産のうち有形固定資産は、再編事業に伴う建築工事の竣工等により増加しました。
流動資産のうち現金預金は、有価証券を取り崩したことにより増加しました。

総資産は、前年度より約 74 億円増加して、約 3,113 億円となりました。

(負債の部)

科 目	R01年度決算	H30年度決算	増 減
固 定 負 債	29,981	31,054	△1,073
長期借入金	0	0	0
学校債	2,760	4,770	△2,010
その他の固定負債	27,221	26,284	937
流 動 負 債	20,507	17,343	3,165
短期借入金	0	0	0
短期学校債	2,580	680	1,900
その他の流動負債	17,927	16,663	1,265
負 債 の 部 合 計	50,488	48,397	2,091

負債は、約 505 億円と前年度対比で約 21 億円の増加となりました。
主な要因について、その他の固定負債は教職員の増加に伴い退職給与引当金が増加、その他の流動負債は締日の関係により未払金が増加したこと等があげられます。

(純資産の部)

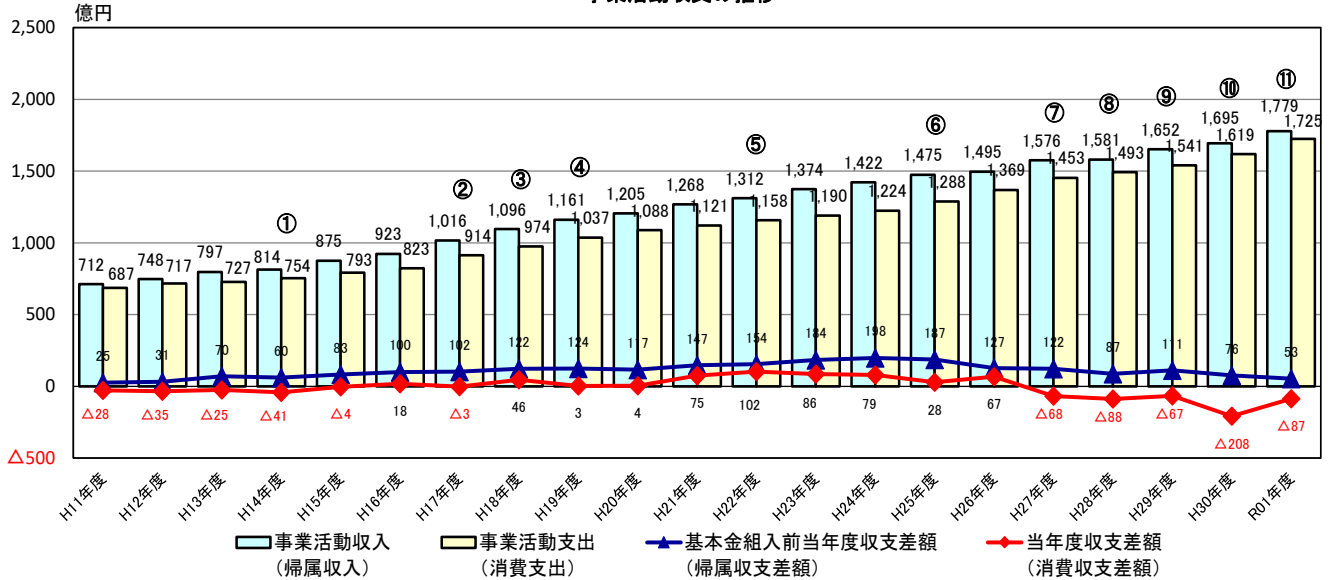
科 目	R01年度決算	H30年度決算	増 減
基本金	349,357	335,291	14,067
第1号基本金	336,640	322,970	13,671
第2号基本金	483	683	△200
第3号基本金	0	0	0
第4号基本金	12,234	11,638	596
繰越収支差額	△88,539	△79,806	△8,733
翌年度繰越収支差額	△88,539	△79,806	△8,733
純資産の部合計	260,818	255,485	5,333
負債及び純資産の部合計	311,306	303,882	7,424

基本金は、固定資産取得等により約 141 億円増加して、約 3,494 億円となりました。

純資産の部は、基本金組入前当年度収支差額約 53 億円が増加して、約 2,608 億円となりました。

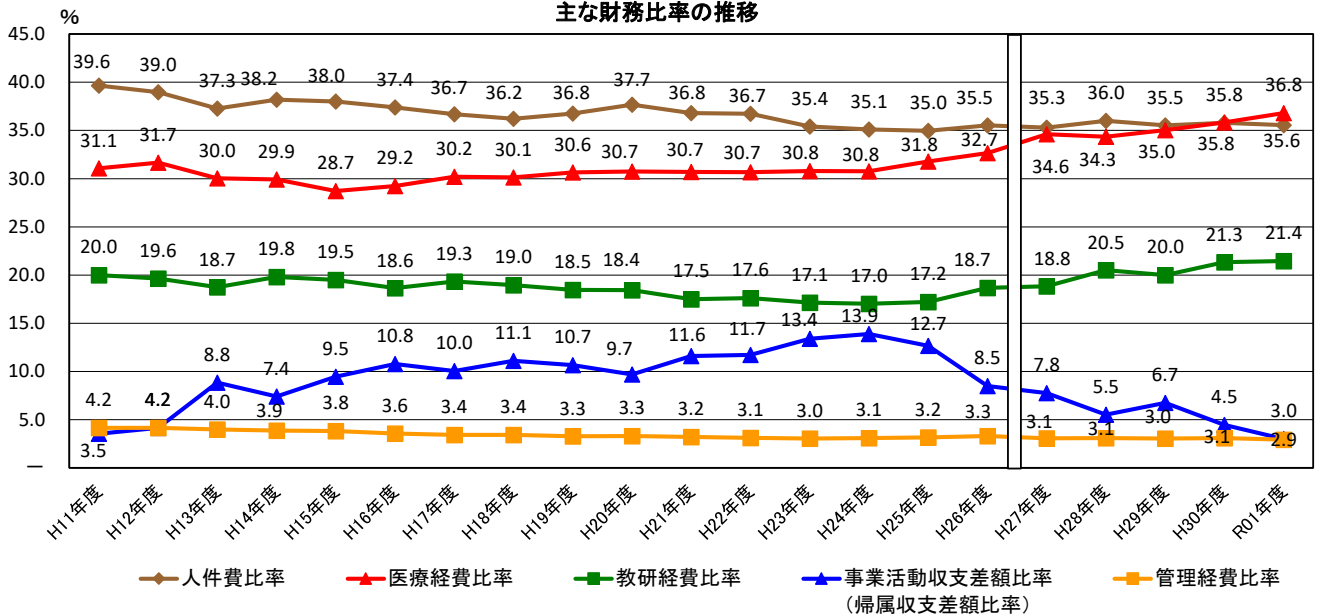
25. 財務状況の推移

事業活動収支の推移



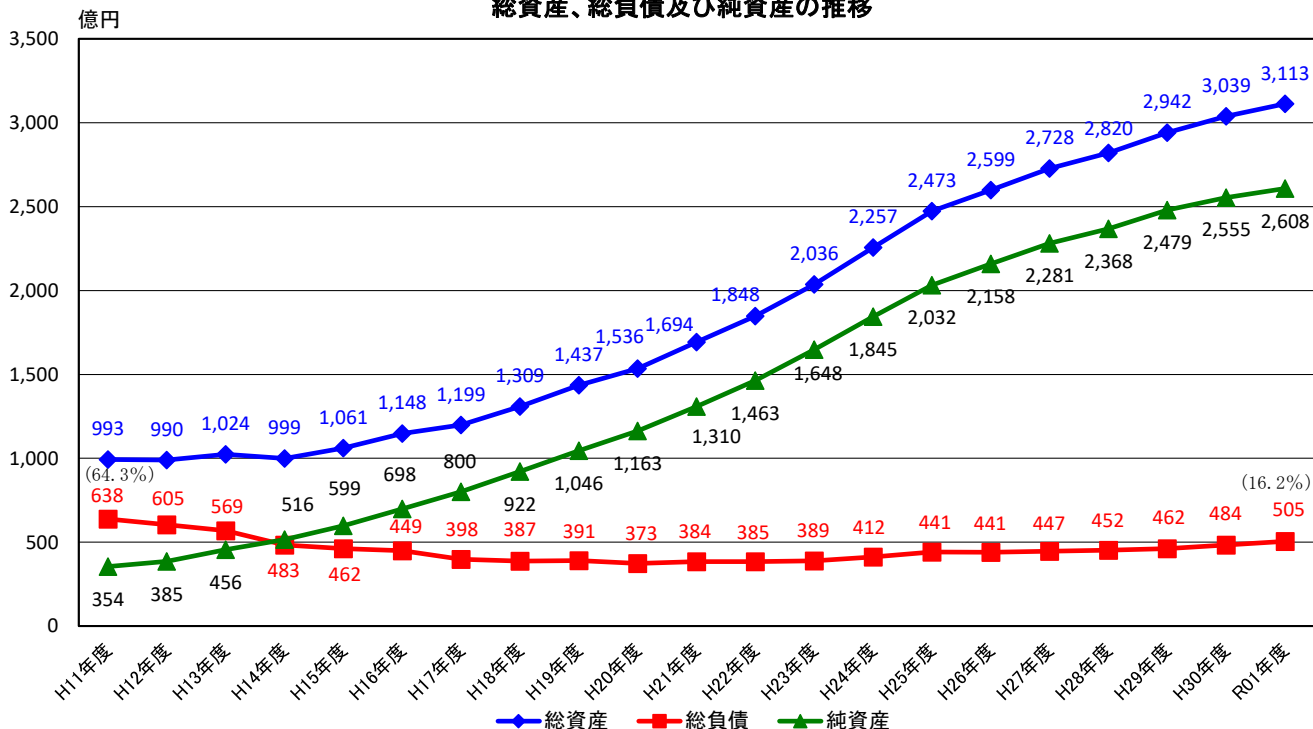
教育・研究・診療の充実を図るため、以下の事業を実施してきました。
 ①平成 14 年度順天堂東京江東高齢者医療センター開院、②平成 17 年度練馬病院開院、③平成 18 年度静岡病院増床、スポーツ健康医科学研究所竣工、④平成 19 年度スポーツロジセンター設立、⑤平成 22 年度静岡県三島市に保健看護学部開設、⑥平成 25 年度 順天堂医院 B 棟 I 期竣工、⑦平成 27 年度国際教養学部開設、⑧平成 28 年度順天堂医院 B 棟 II 期・C 棟竣工、さくらキャンパス新体操競技場・新女子寮竣工、高齢者医療センター増床、⑨平成 29 年度浦安病院 3 号館竣工、⑩平成 30 年度新研究棟(A 棟 I 期)竣工、⑪令和元年度本学第 6 番目の学部として保健医療学部開設、練馬病院 3 号館が竣工しました。

主な財務比率の推移



上記は財務比率の推移を示しています。平成 27 年度の学校法人会計基準改正に伴い上記の比率のうち、事業活動収支差額比率を除く各比率の分母が従来の帰属収入（新基準の事業活動収入）から経常収入に変更されています。平成 29 年度以降、事業活動収支差額比率が減少していますが、全学的な再編事業に伴う費用の増加等により、基本金組入前当年度収支差額が減少したことが主な要因です。

総資産、総負債及び純資産の推移

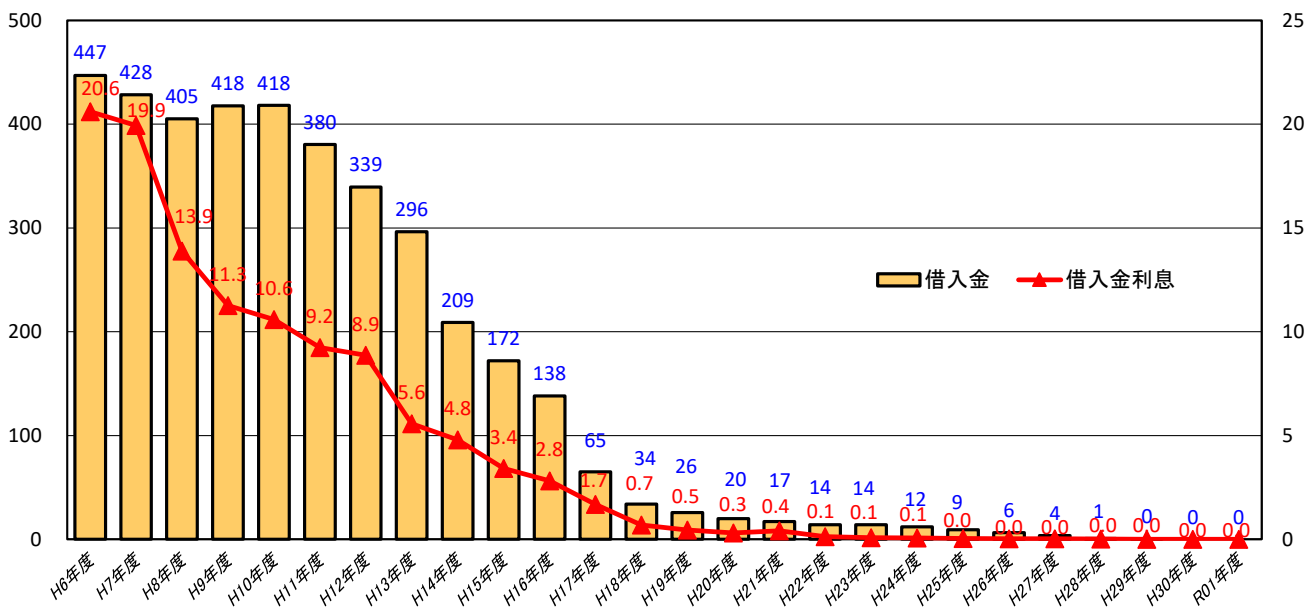


上記のグラフは総資産、総負債、純資産（平成 27 年度学校法人会計基準改正以降の呼称）の推移を示しております。平成 5 年に竣工した順天堂医院 1 号館建設資金の大半を借入金で賄ったため、平成 13 年度まで総負債が純資産を上回っていました。その後は堅調な事業活動収支差額（帰属収支差額）を維持しつつ、有利子負債の返済を前倒しで行い、施設・設備の拡充を自己資金により行ってきました。これらの成果により総負債比率（総負債／総資産）は平成 11 年度の 64.3%から令和元年度には 16.2%と、大幅に改善しています。

借入金残高
単位:億円

金融機関等借入金及び同借入金利息の推移

借入金利息
単位:億円



総負債比率改善のため借入金の返済を積極的に進めてきました。平成 30 年度に金融機関等からの借入金を全て返済しており、健全な運営状態を維持しております。



Juntendo, Tokyo, Established 1838